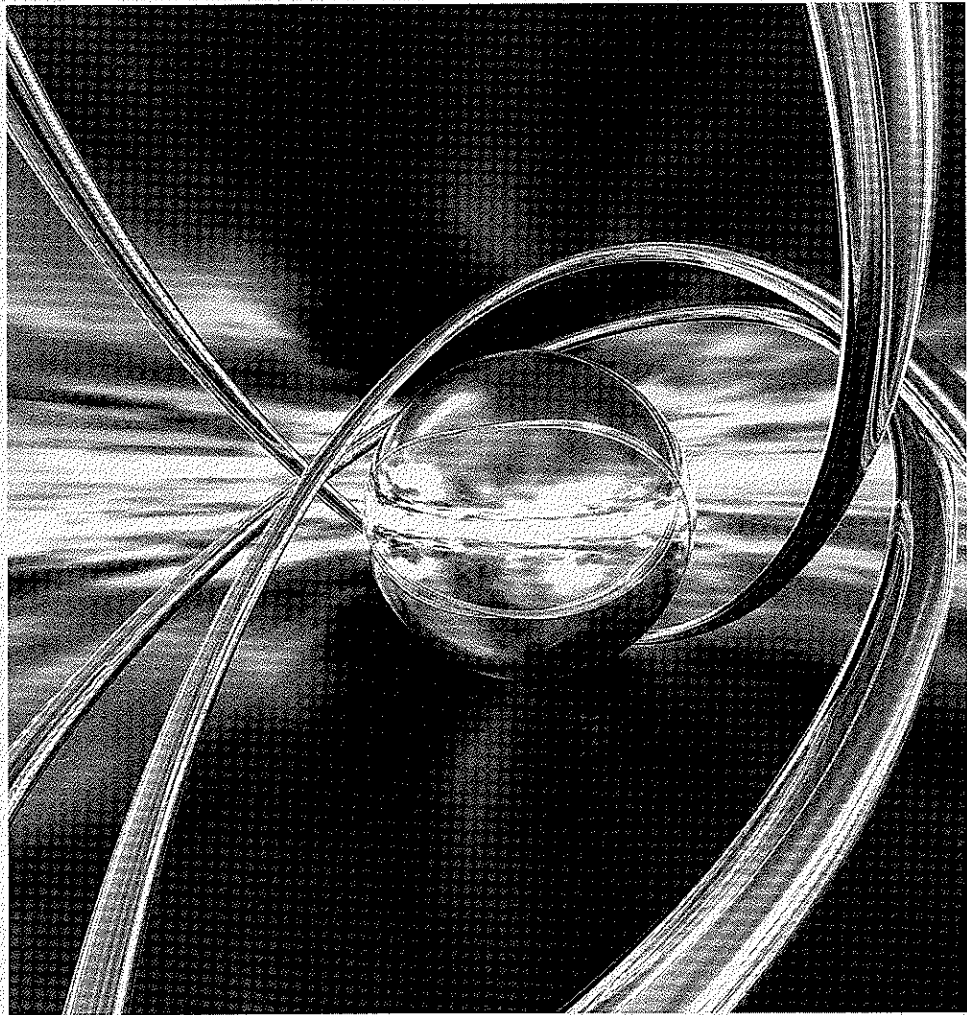


平成14年度
まちの再発見運動 記録集



生活復興県民ネット

平成14年度

まちの再発見運動 記録集

目次

1 平成14年度事業概要	4
2 事業内容	
(1) 住吉浜手まちづくりの会 (神戸市東灘区)	6
(2) 深江地区まちづくり協議会 (神戸市東灘区)	8
(3) ひょうごコミュニティネットワーク (神戸市東灘区)	10
(4) ふたば子ども会 (神戸市東灘区)	12
(5) 住吉山田まちづくり協議会 (神戸市東灘区)	14
(6) 六甲アイランドふれあいのまちづくり協議会 (神戸市東灘区)	16
(7) 灘中央地区まちづくり協議会 (神戸市灘区)	18
(8) サン・サン・クラブ (神戸市中央区)	20
(9) 南京町商店街振興組合 (神戸市中央区)	22
(10) 脇の浜ふれあいのまちづくり協議会 (神戸市中央区)	24
(11) 元町商店街連合会 (神戸市中央区)	26
(12) 北野・山本地区をまもり、そだてる会 (神戸市中央区)	28
(13) 新開地周辺地区まちづくり協議会 (神戸市兵庫区)	30
(14) 道場町連合自治会 (神戸市北区)	32
(15) 真陽子ども会 (神戸市長田区)	34
(16) 新長田駅北地区東部まちづくり協議会連合会 (神戸市長田区)	36
(17) 野田北部まちづくり協議会 (神戸市長田区)	38
(18) 長田神社地域活性化協議会 (神戸市長田区)	40
(19) 御蔵通5・6・7丁目町づくり協議会 (神戸市長田区)	42
(20) 青少年育成委員会高倉台支部 (神戸市須磨区)	44
(21) 横尾ふれあいのまちづくり協議会 (神戸市須磨区)	46

(22) 神の谷ふれあいのまちづくり協議会（神戸市須磨区）	48
(23) 福祉ネットワーク西須磨だんらん（神戸市須磨区）	50
(24) 天井川公園を育てる会（神戸市須磨区）	52
(25) 尼崎市南武庫3丁目社会福祉協会（尼崎市）	54
(26) 金楽寺社会福祉連絡協議会（尼崎市）	56
(27) 越木岩自治会（西宮市）	58
(28) 芦屋おたすけたい（芦屋市）	60
(29) あしたの伊丹の（まち）を創りだす会（伊丹市）	62
(30) 伊丹郷町商業会（伊丹市）	64
(31) リバーサイド・フェスタ実行委員会（伊丹市）	66
(32) 仁川北自治会（宝塚市）	68
(33) 西谷地区まちづくり協議会（宝塚市）	70
(34) 宝塚市西山コミュニティ協議会（宝塚市）	72
(35) ゆずり葉コミュニティ（宝塚市）	74
(36) 川西市子ども会連絡協議会（川西市）	76
(37) 多田小学校区コミュニティ推進協議会（川西市）	78
(38) 東浦町老人クラブ連合会（津名郡東浦町）	80
(39) 一宮21創造協会（津名郡一宮町）	82
(40) 淡路おやこネットワーク（津名郡一宮町）	84
(41) 寺内祇園囃子保存会（三原郡三原町）	86
(42) 福良いずみ会（三原郡南淡町）	88
3 事例報告会概要	90
4 参考図書一覧	94

平成14年度「まちの再発見運動」支援事業概要

1 事業目的

阪神・淡路大震災によって被災した市町において、地域固有の自然や歴史的資源等の再発見を通して、住民の異世代交流やコミュニティづくりの促進を図り、誰もが「住んでいてよかった」「住みつけたい」と思えるまちづくりに向けた、継続的な取組み（まちの再発見運動）を実施する団体等に対して、その取組み経費の一部として補助金（50万円を限度）を交付する。

2 対象団体・事業

自治会、婦人会、老人クラブ、子ども会等の地域組織による、住民主導の協働による事業。
（テーマ系組織との連携について）

テーマ系組織の支援により、地域組織とテーマ系組織が連携・ネットワークを図りながら運動を進める場合であっても、その取組み地域組織であること。

3 実施状況等

1次及び2次の募集で59件の応募があり、審査委員会で44件を採択した。

《1次募集の概要》

- ・ 募集期間 平成14年5月28日～平成14年6月21日
- ・ 事業期間 平成14年5月1日～平成14年12月31日
- ・ 申請件数 43件
- ・ 採択件数 33件（うち中途の事業中止2件）

《2次募集の概要》

- ・ 募集期間 平成14年8月1日～平成14年8月30日
- ・ 事業期間 平成14年8月1日～平成15年2月28日
- ・ 申請件数 16件
- ・ 採択件数 11件

《審査委員会の開催状況》

- ・ 開催日 (1次募集分) 平成14年7月9日
(2次募集分) 平成14年9月20日
- ・ 審査委員長 神戸大学経済経営研究所教授 小西康生

《参考》

・地区別分類

市町名	応募件数	実施件数
神戸市	32	24
尼崎市	3	2
明石市	1	0
西宮市	2	1
芦屋市	3	1
伊丹市	3	3
宝塚市	6	4
川西市	3	2
津名町	1	0
一宮町	2	2
東浦町	1	1
三原町	1	1
南淡町	1	1
計	59	42


・事業内容別分類

区 分	応募件数	実施件数
祭り、イベント	27	18
伝統文化継承	7	6
タウンマップ	18	16
地域シンボル	4	0
そ の 他	3	2
計	59	42

(1)住吉浜手まちづくりサマーフェスタ

●住吉浜手まちづくりの会


●神戸市東灘区住吉南町 代表：岡部 龍二

<p>目 的</p>	<p>震災でコミュニティに大きな変化があるなか、地域まちづくりを推進していくうえで、住民のコミュニケーションづくり、まちの発展に関し共同の関心を引き出す。 また、次代の担い手となる子ども達を中心にした行事を行い、世代を超えた交流により、地域コミュニティの元気づけを図る。</p>																
<p>内 容</p>	<p>〈まちづくりサマーフェスティバル〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりパネル展示 ・ 子ども忍者ごっこ ・ 太鼓とロックソーラン踊り ・ 健康チェック など 																
<p>地 域</p>	<p>神戸市東灘区住吉南町1～5丁目 住吉中学校区</p>																
<p>事 業 の 効 果</p>	<p>「まちづくりパネル展」では、各家庭に残っているスナップ写真を借りることで、親から子への思い出話ができ、展示に際しては高齢者が「郷土の語り部」となり、酒造等の産業を通じてまちが発展したことなど、地域の移り変わりの勉強になり、異世代の交流も図られた。 また、「忍者ごっこ」では、実際に地域を探検することによって、自分たちのまちへの興味を引き出すことにより、地域の大人たちと子供の異世代交流が図られた。</p>																
<p>事 業 経 過</p>	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;">6月3日</td> <td>定例役員会（総会決定実践のためのサマーフェスタの取組みを決定）</td> </tr> <tr> <td>18日</td> <td>実行委員会</td> </tr> <tr> <td>30日</td> <td>実行委員会・広報編集会</td> </tr> <tr> <td>7月1日</td> <td>まちづくり定例役員会</td> </tr> <tr> <td>17日</td> <td>実行委員会（パネル展の写真選定）</td> </tr> <tr> <td>20日</td> <td>実行委員会（バザーの値つけ、太鼓、踊りの稽古）</td> </tr> <tr> <td>27日</td> <td>実行委員会（会場の設営、バザーの値つけ、踊りの稽古）</td> </tr> <tr> <td>28日</td> <td>まちづくりサマーフェスティバル</td> </tr> </table>	6月3日	定例役員会（総会決定実践のためのサマーフェスタの取組みを決定）	18日	実行委員会	30日	実行委員会・広報編集会	7月1日	まちづくり定例役員会	17日	実行委員会（パネル展の写真選定）	20日	実行委員会（バザーの値つけ、太鼓、踊りの稽古）	27日	実行委員会（会場の設営、バザーの値つけ、踊りの稽古）	28日	まちづくりサマーフェスティバル
6月3日	定例役員会（総会決定実践のためのサマーフェスタの取組みを決定）																
18日	実行委員会																
30日	実行委員会・広報編集会																
7月1日	まちづくり定例役員会																
17日	実行委員会（パネル展の写真選定）																
20日	実行委員会（バザーの値つけ、太鼓、踊りの稽古）																
27日	実行委員会（会場の設営、バザーの値つけ、踊りの稽古）																
28日	まちづくりサマーフェスティバル																
																	



連携	住吉・魚崎小学校学童保育所ピノキオクラブ
成果物	<p>〈パネル〉</p> <p>各家庭や白鶴酒造などから昔のまちの写真を持ちよって展示したことから、自分達のまちの移り変わりが目で確認できて、楽しくまちの再発見ができた。</p>
今後の展望	<p>パネル展を通じて、自分のまちを見つめ直す気運が高まり、今後のまちづくりに生かしていきたい。</p> <p>表現力をはぐくむ「忍者ごっこ」は人気が高かったこともあり、今後も学校関係者と共同して取り組んでいく。</p> <p>今後も、このような機会があれば計画していきたい。</p>

問合せ先	堀口 裕司 神戸市東灘区住吉南町 078-821-4386
------	-------------------------------

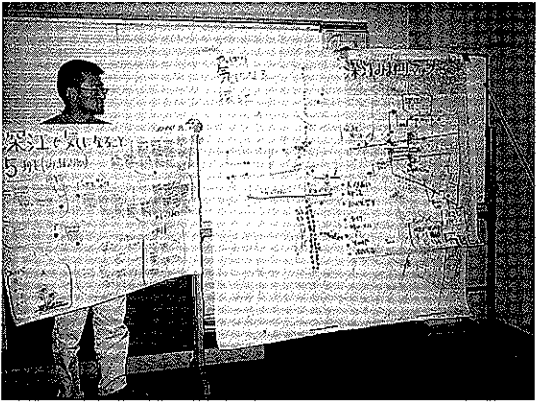
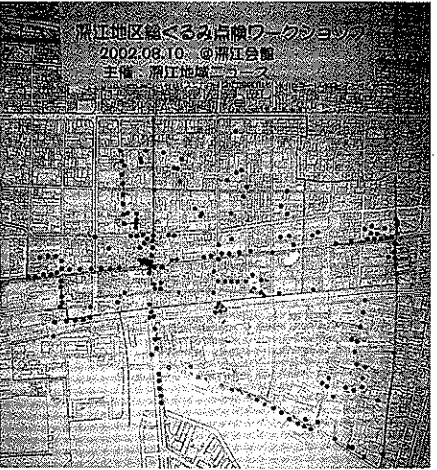

 私達の町では平成9年よりまちづくり運動が始まり、その活動の中で必然的に「まちの再発見」が提唱されました。現在の「まち」の認識は各住民によって色々な考え方がありますが、まちづくり運動は自分達の住むまちを良くしたいという一致点で住民合意をめざしたいと思っています。そのためにも現在のまちはどうなのか、まちの歴史はどうだったか、そして子どもたちに子どもたちの眼でまちを再発見してほしいと思っています。まちの再発見運動はまちづくりの通過点です。

〈住吉浜手まちづくりの会 堀口 裕司〉

(2) 深江地域再発見事業

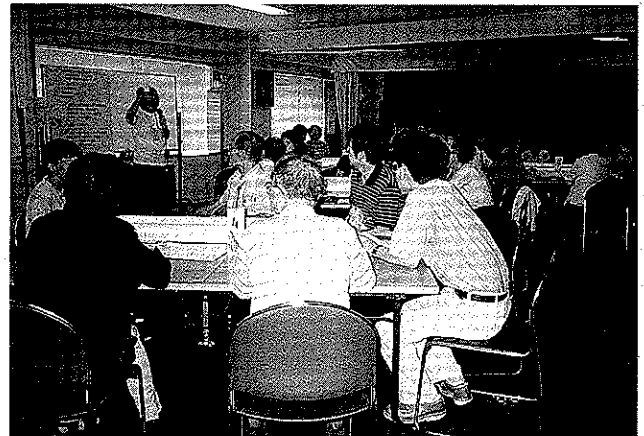
● 深江地区まちづくり協議会

● 神戸市東灘区本庄町 代表：佐野 末夫

<p>目 的</p>	<p>深江地域は「みどり豊かで安全な街」を基本目標に、住民が一体となった活動を推進している。その一環として、各種団体の情報交換の必要性を考慮し、「深江地域にゆーす」の発行と「親子まちあるき探検隊」を実施し、地域の再発見と住民に対して地域情報を提供し、住民相互に共有を図るとともに、地域のコミュニティ形成を深め人材発掘を含めた活動の推進を図る。</p>
<p>内 容</p>	<p>〈深江地域にゆーす発行〉 地域自治会を通じて住民に配布</p> <p>〈親子まちあるき探検〉 カメラを持ちながらまちのあちこちを撮影し、関心のあるものを写し、地域住民の前で発表する学習を親子で体験することで、異世代の価値観の違いを学習した。</p> <p>〈深江のまち総ぐるみ点検〉 地域の自治会・各種団体に呼びかけ、地域における問題点についてワークショップ形式で、積極的な意見交換会を開催した。</p> <p>〈街の暗がり点検〉 防犯・消防・青少協等に呼びかけ、夜間10時から12時の間に街の暗がり調査点検し、翌日には、行政に対して街灯の球切れの修理や取替えの申し入れ及び危険箇所の提示をした。</p>
<p>地 域</p>	<p>神戸市東灘区深江北町、深江本町、深江南町、本庄町、深江浜町 本庄中学校区</p>
<p>事 業 の 効 果</p>	<p>地域活動をしている団体の連携を図ることができ、各活動別に交流を深めつつ、合同計画を企画することで地域活動の広がりにも結びついた。</p> <p>また、各種団体の活動を地域の人々が理解し、地域の情報を共有することで、より多くの住民参加を呼びかけることができ、異世代との交流が活性化され、地域住民のコミュニティづくりに大きく役立った。</p> <p>そして、住民のなかで、「もっと自分たちの地域を自分たちが知ることが大切である」との意見が出されるようになった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div>

事業経過

6月15日	「編集会議」
26日	各団体代表者会議
7月15日	「深江地域にゆーす」創刊号発行
16日	機関紙発行の反省会及び「深江のまち総ぐるみ点検」準備
8月10日	「深江のまち総ぐるみ点検」の実施
20日	「編集会議」
24日	「親子まちあるき探検」準備
26日	「深江のまち総ぐるみ点検」まとめと反省会
31日	「親子まちあるき探検」の実施
9月17日	「親子まちあるき探検」の反省会
20日	「深江地域にゆーす」2号発行
11月6日	「街の暗がり点検」実施



成果物

〈深江地域にゆーす〉第1～3号創刊 〈深江のまち総ぐるみ点検〉
 〈親子まちあるき探検〉〈街の暗がり点検〉

今後の展望

「深江地域にゆーす」は、評判がよく、地域住民にとっても地域内で情報を得ることは住民としても大切なものであり、できる限り継続が望まれるので、続けていきたい。
 「まちの総ぐるみ点検」は、今後の課題もあり継続発展させたい。

問合せ先


佐野 末夫 神戸市東灘区本庄町 078-411-9335

震災で倒壊家屋46%、死者259人もの被害を出したこの地域は、短期間で復興はしましたが、震災後この地域に入居した人が40%を越え、コミュニケーションが希薄になっています。この方々にとって地域のことを知ることは、生活上不可欠なものです。その意味でも、「深江地域にゆーす」を発行し全世帯に配付できたことは、コミュニティづくりに大きく貢献できたと思います。
 〈深江地区まちづくり協議会 佐野 末夫〉

(3)六甲アイランドのコミュニティ実態調査とネットワークづくり

●ひょうごコミュニティネットワーク

●神戸市東灘区向洋町中 代表：増田 大成

目的	地域のボランティアグループ・NPOの活動状況の実態調査を行い、地域の発見を広報し、それらの参加をすすめるコミュニティ・まちづくりを促進するとともに、各グループ間のネットワークづくりを図る。
内容	<p>〈実態調査〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全住民に協力要請 ・ 各団体へのヒアリング <p>〈広報〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会、振興会などの組織を通して広報 ・ タウン誌、マスコミ紙での紹介、全戸配布、フォーラム開催
対象	神戸市東灘区向洋町中 向洋中学校区
事業の効果	<p>アンケート調査では、住民の自主的なグループ活動が90を超えており、その内容も幅広く、福祉、環境、文化、教育、国際など幅広い分野におよび、参加している人たちは老若男女を問わず裾野が広い。また、自由記入欄に、多くの人たちの思いや期待が記入されていた。まち開き以降14年間に住民の自主自発の活動で、ここまでこのまちが進化してきたことに対する大きな発見であり、自信と誇りを得た。</p> <p>まちの全戸に「調査のまとめ」を報告するとともに、フォーラムを開催し、各種グループの代表や六甲アイランドCITY自治会・六甲アイランド地域振興会と一緒に六甲アイランドの地域活動や活性化に向けて考えあうことができたことは、今後のまちづくりについてのコラボレーションの可能性を示唆したものであった。</p> 

事業経過	8月10日	進め方についての方針の検討・説明・協力要請
	22日	調査全体の具体計画
	24日	調査準備・チラシ作成
	26日	チラシ住民全戸配布
	9月12日	アンケート調査・ヒヤリング調査の検討
	25日	アンケート内容の確認・役割分担
	27日	アンケートの内容チェック・プレテスト
	29日	アンケート実施協力お願い広告
	10月3日	アンケート配布
	10月16日~11月13日	六甲アイランド地域活動団体ヒアリング
	10月16日	現状確認およびフォーラム方向性の検討
	11月6日	ヒアリング結果報告会
	24日	アンケート結果の読み込み
	12月1日	「六甲アイランド地域活動フォーラム」開催
10日	自治会報での報告内容検討	
25日	今後の検討・自治会報での報告内容検討・住民報告チラシ作成・全戸配布	
28日	住民報告チラシ全戸配布	
連携	六甲アイランドCITY自治会、六甲アイランド地域振興会	
成果物	〈六甲アイランドシティコミュニティアンケート結果〉 〈六甲アイランドシティ地域活動団体一覧〉 〈六甲アイランド地域活動団体ヒアリング結果〉 〈全戸配布全体報告チラシ・自治会会報・自治会新年のあいさつ（ビデオ）〉	
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 調査の結果をもう少し分析し、課題を明確にしていく必要があると考えている。 六甲アイランドにおけるコミュニティづくりやグループのネットワーク化、まちの活性化などについて協力・支援できるようにしていきたい。 今回の調査活動をとらえて、六甲アイランドCITY自治会や六甲アイランド地域振興協会、まちの各種団体、グループなどとの関係性が深められ、まちづくりについての共通意識が強まったので、お互いに協働しながらまちづくりを進めていけるようにしたい。 	

問合せ先	増田 大成 神戸市東灘区向洋町 078-857-2595
------	------------------------------

◆◆◆◆◆

今回の「まちの再発見運動」事業を通じて、地域内の様々な活動団体との関係づくりができ、たいへん有意義であったと感じております。六甲アイランドシティは、まだ新しいまちですが、今回の結果をふまえて、お互いに地域について話し合いの「場」をもつことで共通認識を深め、協力しあって地域の活性化に取り組んでいきたいと思っております。

〈ひょうごコミュニティネットワーク 増田 大成〉

◆◆◆◆◆

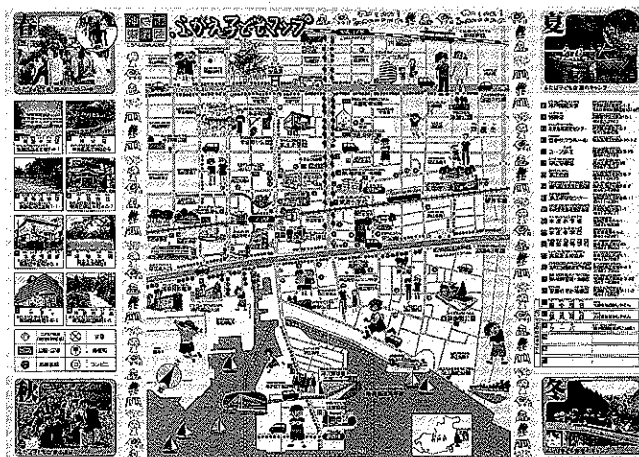
(4)子どもフェスティバル

●ふたば子ども会

●神戸市東灘区深江本町 代表：藤田 佳子

<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 深江地域全域の自治会と連携をとりながら、子ども達の目線でマップづくりをする。 ・ さまざまな体験活動や行事をまとめた記録などを「子どもフェスティバル」の場で展示発表する。 ・ これらを通じて、地域全体をまきこんだ青少年の育成活動を行い、また、地域を見直す場づくりをする。
<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各自治会の協力を得ながら、深江地域のまち調査を実施し、子どもの視線の「深江子どもマップ」を作成。 ・ 子どもが企画時から参加する「子どもフェスティバル」の開催。 ・ キャンプや夏祭り等さまざま体験活動の記録を作成し、子どもフェスティバルで展示。
<p>地域</p>	<p>神戸市東灘区 本庄中学校区</p>
<p>事業の効果</p>	<p>「深江子どもマップ」を作ることにより、深江の町を違う角度から学び知ることができた。また、マップづくりをする活動の中で、地域の自治会や婦人会などの方々と深い交流を持つことができた。</p> <p>子どもたちが参加した夏のキャンプや遠足などの活動記録を、自分たちで工夫して作成し、そのことにより、奥深く意義のある体験活動とすることができた。</p> <p>「子どもフェスティバル」では、企画時から子どもたちも会議などに加わり、地域の人と連携をとりながら、フェスティバルの運営を行うことができた。</p> <p>長期間のプロジェクトを行うことにより、地域全体をまきこんで青少年育成のイベントを成功させることができた。</p> <div data-bbox="279 1400 869 1780" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="790 1668 1380 2060" data-label="Image"> </div>

事業経過	4月11日	子どもフェスティバル実行委員発足
	30日	マップサークル発足
	5月初旬～8月末	深江の町探検・地図づくりの資料集め
	7月7～10日	フェスティバル・夏祭りの看板づくり
	9月15～18日	子ども会活動の写真まとめ
	20～28日	フェスティバル実施に向けての話し合い
	10月6日	子どもフェスティバル
12月7日	反省会	
連携	深江地区連合自治会、東灘小学校、大日神社奉賛会	



成果物	<p>〈深江子どもマップ〉</p> <p>〈各行事のアルバム〉</p>
今後の展望	<p>今回の「子どもフェスティバル」の開催に際し、各自治会や婦人会、子育てサークルのメンバーの方々に協力していただき、地域との強いつながりをつくることができました。</p> <p>この結束力と、また様々な行事を通して得た貴重な体験や行事開催のノウハウを今後も生かし、地域一体となって町づくりや青少年育成に力をつくして行きたいと考える。</p> <p>そして、このまちぐるみの活動がもっと大きく発展し、となりの町も、そして、またその隣、そして、区ぐるみへと広がっていくよう努力していきたい。</p>

問合せ先	藤田 佳子 神戸市東灘区深江本町 078-411-3284
------	-------------------------------

コメント

地域の人たちと交わることによって深江の街を知ることができました。こんな機会がなければ深江の街を深く知ることができません。その活動をフェスティバルという場で発表でき「深江子どもマップ」を大勢の方に配ることができました。今回のマップづくり等に参加できなかった人たちにも深江の街を知ってもらい、子どもの目線からの街の再発見につながりました。

〈ふたば子ども会 吉見 明美〉

(5)住吉山田まち歩きマップ

●住吉山田まちづくり協議会



●神戸市東灘区住吉山手 代表：内海 清二

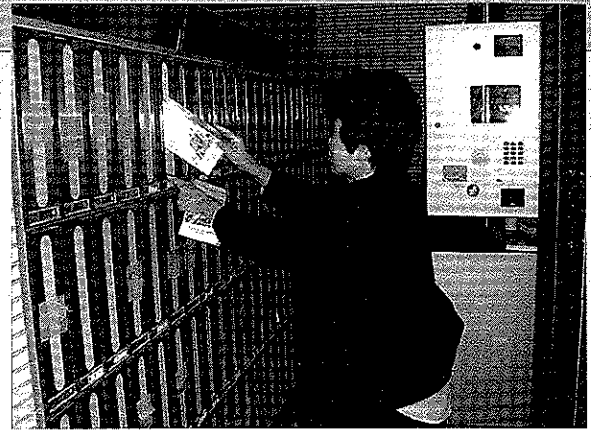
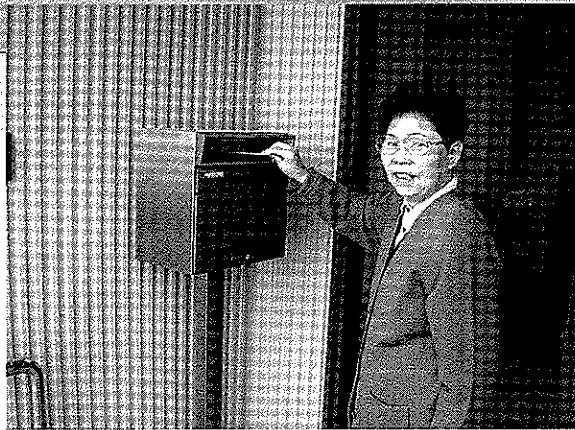
目的	まちづくり活動の開始にあたり、地域の歴史、文化資源、地域の環境、景観資源を知ることが重要と考え、その方法としてまち歩きを実施し、その集大成として地域資源マップを作成する。	
内容	<p>〈まち歩きを実施〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小原豊雲記念館見学とその周辺 2. 旧住吉村と関連の深い甲南病院と周辺の見学 3. 住吉川沿いの探索 4. 住吉山手2丁目周辺の史跡と武田資料館の見学 5. 旧乾邸と周辺の見学 6. 白鶴美術館と周辺の見学 7. 住吉山手9丁目周辺の見学 <p>その集大成として、「地域資源マップ」を作成</p>	
地域	神戸市東灘区住吉山手 住吉中学校区（山田区民会範囲）	
事業の効果	まち歩き的全てにアンケートを実施した結果、「必要以上の開発はほらない」「石積みの塀は残してもらいたい」「古きよき建物を保存してほしい」などがあり、これらの声から住吉山田まちづくり協議会の活動目標を「地域の歴史を知る」「緑（自然）と石の保存と保護」などとした。また、地域のお年寄りから話しをうかがい、昔の地域の姿もマップに掲載し、地域に親しみを持ってもらうようにした。	
事業経過	<p>5月19日 6月2日 16日 7月7日 21日 8月18日 21日 9月15日 22日 10月20日 11月10日 12月3日</p>	<p>まち歩き：小原豊雲記念館見学とその周辺</p> <p>住吉山田まちづくり協議会例会（事業検討）</p> <p>まち歩き：旧住吉村と関連の深い甲南病院と周辺の見学</p> <p>まち歩き：住吉川沿いの探索</p> <p>住吉山田まちづくり協議会例会（事業検討）</p> <p>まち歩き：住吉山手2丁目周辺の史跡と武田資料館の見学（2回実施）</p> <p style="text-align: center;">//</p> <p>住吉山田まちづくり協議会例会（事業検討）</p> <p>まち歩き：旧乾邸と周辺の見学</p> <p>まち歩き：白鶴美術館と周辺の見学</p> <p>まち歩き：住吉山手9丁目周辺の見学</p> <p>地域資源マップ完成</p>

(6)「ふれあいのまち六甲アイランド」こんなところ好きガイドマップづくり

●六甲アイランドふれあいのまちづくり協議会

●神戸市東灘区向洋町中 代表：前野 正美

<p>目 的</p>	<p>六甲アイランド及び向洋ふれあいのまちづくり協議会合同による「福祉プラン検討活動」をカード方式で進める中で、「わがまち六甲アイランド」をとりまく課題とする項目より、「自慢すべき良いところ」をあげる項目・件数（カード枚数）が圧倒的に多く、「六甲アイランドの良いところ」を再発見・再認識して共有することが、地域の福祉やコミュニティの推進に有効であるとの結論で一致した。</p> <p>「わたしは六甲アイランドのこんなところが好き、こんなところが自慢」などをテーマとするマップを作成し、地域に対する愛着とコミュニティの推進を図る。</p>										
<p>内 容</p>	<p>マップ「六甲アイランドええところ再発見」を作成</p>										
<p>地 域</p>	<p>神戸市東灘区向洋町 向洋中学校区</p>										
<p>事 業 の 効 果</p>	<p>これまで人的交流はあっても事業を協働することが少なかった連携団体が、数回の全体会議及び個別協議を通じ、「ええところポイントの企画調査」などを協働して進めることにより、相互の活動内容や活動状況などについても理解を深めたことにより、地域のコミュニティとも活動推進に大変有効であったと共に、その他の団体（婦人会・老人会など）との新たな交流も生まれた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>										
<p>事 業 経 過</p>	<table border="1"> <tr> <td>7月30日~8月1日</td> <td>連携団体等との打合せ</td> </tr> <tr> <td>8月10日</td> <td>「ええところポイント」に対する打ち合わせ 施設、住民からの意見聴取、取材</td> </tr> <tr> <td>9月21日</td> <td>「マップの素案」を提示</td> </tr> <tr> <td>10月6日</td> <td>最終原稿案決定</td> </tr> <tr> <td>11月5日~9日</td> <td>マップ配布</td> </tr> </table>	7月30日~8月1日	連携団体等との打合せ	8月10日	「ええところポイント」に対する打ち合わせ 施設、住民からの意見聴取、取材	9月21日	「マップの素案」を提示	10月6日	最終原稿案決定	11月5日~9日	マップ配布
7月30日~8月1日	連携団体等との打合せ										
8月10日	「ええところポイント」に対する打ち合わせ 施設、住民からの意見聴取、取材										
9月21日	「マップの素案」を提示										
10月6日	最終原稿案決定										
11月5日~9日	マップ配布										
<p>連 携</p>	<p>六甲アイランド地域振興会、六甲アイランドCITY自治会</p>										



成果物	<p>〈「ふれあいのまち六甲アイランド」こんなところ好きガイドマップ〉 20,000部</p>
今後の展望	<p>小学生の先生方から、生徒たちが地域を知る貴重な資料との評価を得て、事業の中で生徒たちのタウンウォッチング活動を新年度に企画。</p> <p>「野鳥公園」の再生をめざして、住民協力で草刈などができないかについて、住民グループ（六甲アイランドを美しくする会など）で研究することになった。</p> <p>地域の活動内容を紹介するコミュニティマップを求める住民の声もあがってきたので、次の活動を検討中。</p> <p>マップの英語化についても検討中。</p> <p>マップ作製が契機になって、地域振興会、自治会などで六甲アイランド内部の活動を紹介するホームページ作成案が持ち上がり、活動を開始した。</p>

問合せ先	前野 正美 神戸市東灘区向洋町中 078-858-2841
------	-------------------------------

コメント


「次世代に贈るまちづくり」を開発コンセプトとするこの街にひかれて住まいを始め12年。四季を彩る緑と街の中央を流れるリバーモールでの子ども達の喚声。住民アンケートでも実に90%を超える皆さんが住環境に満足されていますが、阪神・淡路大震災を機に入退居が激しくなり商店街もやや元気がありません。まちの再発見運動を通じた連携により、新たな第二の希望をこの街に感じます。

〈六甲アイランドふれあいのまちづくり協議会 前野 正美〉

(7)なつかしき心のまちかど再発見

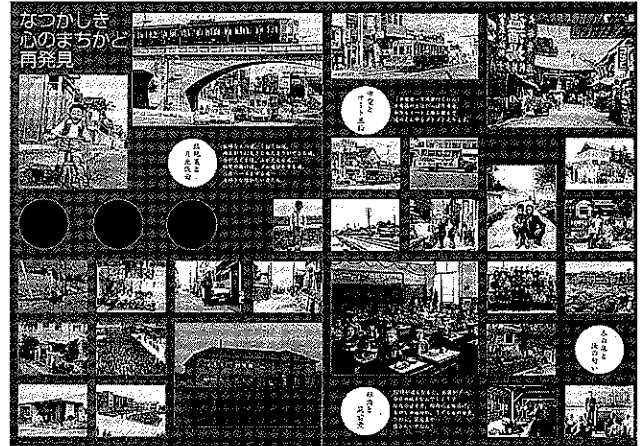
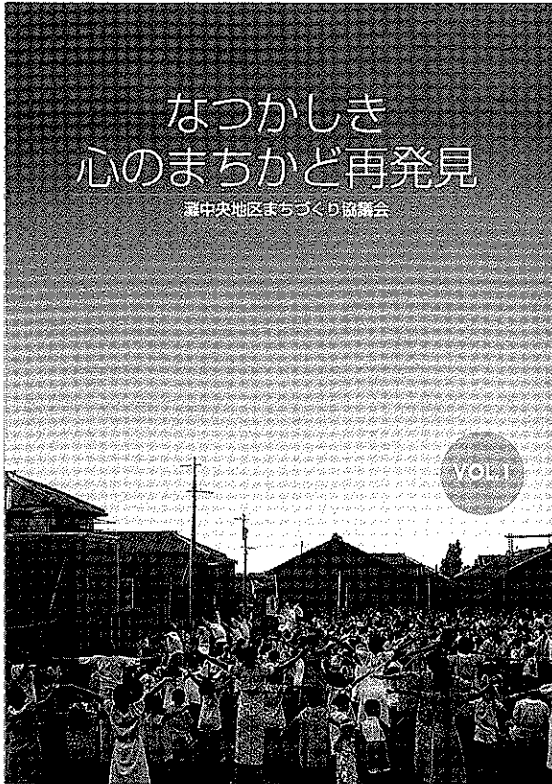
●灘中央地区まちづくり協議会

●神戸市灘区水道筋 代表：小山 喜三

<p>目的</p>	<p>地域の各家庭や商店などに残るスナップ写真や記念写真など、身近に残る古い写真を集めて紹介し、まちの変化に関わる身近な歴史を学び、思い出に残る昔のまちの良さを見直して、地域に対する愛着を深め、これからのいろいろなまちづくり活動につなげることを目的に事業を展開する。</p> <p>また、この活動を通して、地域内の子供や高齢者をはじめ様々な世代の参加を促すことにより、異世代間の交流を推進するとともに、地域住民間のコミュニティづくりを推進する。</p>		
<p>内容</p>	<p>〈地域情報の収集〉 地域の各家庭や商店などに残る、古くて身近な写真を提供依頼。</p> <p>〈出張スライドショー〉 収集した写真を編集し、スライドショーを実施。</p> <p>〈パネル展示〉 身近な地域の移り変わりを簡単に知ってもらおう目的で、収集した写真などをパネルにしてまちかどに展示する。</p> <p>〈パンフレットの作成〉 収集した写真や活動内容等を紹介したパンフレットを作成。</p>		
<p>地域</p>	<p>神戸市灘区倉石通、修原南町、水道筋、岸地通、大内通、泉通、灘北通、原田、上野中学校区</p>		
<p>事業の効果</p>	<p>写真・情報の募集を行ったことにより、様々な方や学校、団体などから写真の提供及びお話をうかがう機会を設けることができた。この過程において、地域の方と事業主体であるまちづくり協議会に新たな繋がりが生まれ、協力や参加が得られた。</p> <p>また、パネル展示やスライドショーの会場では、見学者同士が会話を交わすなど新たな交流が生まれたり、そこで使ったスライド等をもとに作成したパンフレットは地域や家庭での交流の材料として活用された。</p>		
<p>事業経過</p>	<p>5月17日 24日 7月2日 29日 30日 8月24日 11月25日 29日</p>	<p>パネル展示の打ち合わせ等 今後の事業予定の詳細打ち合わせ 稗田小学校写真発掘会の打ち合わせ 小学校の昔の写真の掘り出し・データ化 委員総会 納涼スライドショー実施 出前スライドショー実施 事務局会議</p>	
<p>成果物</p>	<p>〈パネル〉 〈スライド〉 〈パンフレット〉 5,000部</p>		

本事業で実施されたスライドショーなどを継続するとともに、さらなる資料や情報の提供を呼びかけ、地域住民の参加を促すと同時に参加の機会を増やしていく。

- ① 今後、本事業によって新たに生み出された、地域におけるネットワークを有効活用し、活動の幅を広げていく。
- ② CD・パンフレットvol.2作成などの成果物も、引き続き作成していく予定。
- ③ 本事業では昔の写真を中心に資料を収集、情報発信を行ってきたが、今後はこれらに加え、震災時の写真や資料を収集し、総合的な資料収集と情報発信を行う事業へと展開していく予定。



問合せ先

新・まちづくりハウス 神戸市灘区水道筋2-1-2 078-882-3457

コ・メント

「何故、再発見なのか」

新しいものが溢れる21世紀。その対極にあるのが再発見運動…。実際に活動を展開していくうえで、ただ古きものを懐かしむだけでなく、すべてのものが“繋がっている”ことに気づかされます。セピア色の心にふれるとき、それは新しい古いを超越し、人々の温もりであることを知ります。継続し、そして次の人たちに手渡ししていく、再発見運動…。どの時代にも必要な“人の温もり”を発見し、繋げていくことではないでしょうか。

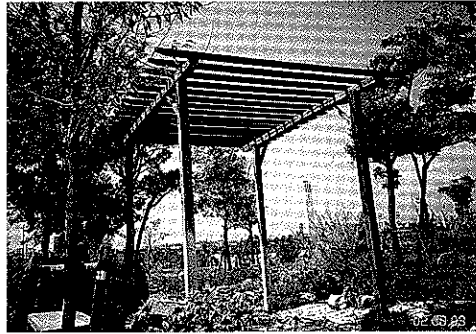
〈灘中央地区まちづくり協議会 下村 明彦〉

(8)まちの再発見運動

●サン・サン・クラブ

●神戸市中央区港島中町 代表：三田 幸雄

目的	<p>わがまちポートアイランドは人工島であり、歴史も浅いまちなので、「住みよく、住みつけたい」未来に向けて誇れるまちにするため、昔ばなし等の伝承や地域温暖化防止の一環も担った自然公園ビオトープの整備を通じて地域の活性化を図る。</p>	
内容	<p>〈小学校での異世代交流〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昔ばなし ・ 昔の遊び（コマまわし・あやとり等） <p>〈ガーデニング〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土いじり ・ 植ええ <p>〈花ウォークラリー〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3箇所のポイントを設け、好きな花を集めてガーデニングの楽しさを味わう。 	
地域	<p>神戸市中央区港島中町 港島中学校区</p>	
事業の効果	<p>まちの良さについて、小学校で地域の異世代交流会が開かれ、昔ばなしや昔の遊びの伝承を通して、ふれあい、ぬくもりのある住みよい街を感じとった。</p> <p>また、土いじりや植ええを通して、元気を感じ、花を育てる喜びを感じ、生き物の種類と自然の素晴らしさを感じることができた。</p>	
事業経過	<p>6月1日 7月3日 14日 17日 8月1日 25日 9月3日 26日 10月8日 11月20日 23日</p>	<p>事業の基本構想策定 布引ハーブ園の職員との交流作業（草刈植付け） 住宅周辺の緑化作業 M・Sガーデンへの土搬入、地ならし 記念アーチ、藤棚完成 夏祭り（子ども会の指導により体験学習として遊びを学ぶ） 整地花植え 記念アーチにバラを植え、藤棚に塗装 花壇散策、ビオトープ周辺の生物観察 育苗指導 小学校での異世代交流（昔ばなし、昔の遊び伝承） 花ウォークラリー開催</p>



連携	M・Sガーデン花みなとポーアイ倶楽部 サン・コーポラス港島 都市基盤整備公団賃貸住宅公団
成果物	〈夏祭り〉 異世代の繋がりを強めた 〈花壇散策〉 生物の多様化に驚き自然の力強さを知った 〈小学校での異世代交流〉 ふれあい、ぬくもりのある住みよい街にとの願いが届いた。 〈花ウォークラリー〉 留学生なども参加し、多くの方にガーデニングの楽しさを伝えた。
今後の展望	伝統的な行事を継承し、心ゆたかなより良い街を築くため、高度浄水（ビオトープ）による生物生態の学習や、花の観察、土質の調査など自然の探究（熟知・予知）を行い、地球温暖化防止にも関連した探検学習の実施機会を増やす。

問合せ先	小林 正平 神戸市中央区港島中町 078-302-7437
-------------	-------------------------------

コメント
 わが町は自分達で築くものだが、「まちの再発見」事業の支援を受け早一年を迎えました。思えば企画から情報、調査、方向性、内容、表現、検討の段階を経て実施の運びとなり、ようやく第一段階をクリアできましたが、次世代に繋ぐとなればまだまだの感があります。
 幸いなことに、近くに先端医療センターがあり場所的に最高の癒しの場となり、後世に残せるひとつと確信し、みなさんと一緒になお一層の努力をいたします。
 〈サン・サン・クラブ 小林 正平〉

(9)地域にねざした中秋節

●南京町商店街振興組合

●神戸市中央区栄町通 代表：曹 英生

<p>目 的</p>	<p>中秋節は元来家族団らんの節句であり、従来の観光客向けだけでなく、地域の団らんの機会を増やす。</p> <p>また、豊作を司る地の神（地主財神）を各戸に祀り、南京町全体で協働して祭りに参加することでまちの結束を固め、さまざまなイベントを通じて、異世代、異文化の交流を促し、中国文化や風習を再発見することで、南京町のおもしろさ、良さを再認識してもらうことを目的とする。</p>
<p>内 容</p>	<p>〈中秋節〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南京町の歴史を知る写真展 ・ 子供もちつき大会 ・ 獅子舞
<p>地 域</p>	<p>神戸市中央区栄町通1-2丁目・元町通1-2丁目（南京町） 神戸生田中学校区</p>
<p>事 業 の 効 果</p>	<p>「南京町の歴史を知る写真展」では、地元の高齢者や古くから営業する商店等から写真の提供を受けたり、子どももパネル作成を手伝ったり、多くの方が参加できた。また、当日は多くの方が訪れ、年配の方が若い世代に昔話を聞かせるなどして盛り上がった。</p> <p>開催後は「今まで顔も知らなかった人と話しができた」「挨拶するようになった」という声が多数寄せられるなど、異世代交流の場とすることができた。</p> <p>「子供もちつき大会」では、地域の子ども以外にも買い物客の子どもの飛び入り参加もあり大勢の方が参加し、地元の若手メンバーや婦人会（神戸南京町楊貴妃会）と交流することができた。</p> <p>住民参加型の内容を増やしたことで、過去には参加しなかった人たちが参加してくれたり、地域の若者や子供が昔のまちのことを知る機会ができた、地域の祭りとして地域のコミュニティの活性化につなげることができた。</p>



事業経過	6月4日	基本構想の検討・策定
	18日	イベント内容の検討
	7月2日	イベント内容の検討
	8月19～30日	地元住民に「写真提供のお願い」配布
	9月3日	写真の選定・エピソードなどの聞き取り
	5日 20～21日	全体最終打ち合わせ 中秋節
連携	神戸南京町景観形成協議会、神戸南京町中華料理店協会KNCA、 神戸南京町楊貴妃会	



成果物	〈中秋節〉
今後の展望	「南京町の歴史を知る写真展」は、申請・連携団体はもとより地元住民から（特に若い世代から）継続を望む声が多く出ているので、次回以降は、独立した事業として写真展を開催することを視野に入れて、「南京町の歴史を知る写真展」の継続について検討していく。
	さらに、写真を前にして年配の方達の講演会を開催したり、皆の記憶を一つにまとめて記録として残したり、今回の写真展を足がかりにして昔のまちのことを知る年配の方達が健在のうちに、「まちの歴史を知る」何らかの事業の実施を検討する。
	来年以降も、もちつきは地元子ども中心で「子供もちつき大会」として開催したいが、子どもの募集方法に関しては再考する必要がある。
	事業全体としては来年以降も継続して実施することは決定しているが、さらに、地元住民が親睦を深める交流の場となるよう南京町の団らんの節句としての役割を持たせていきたい。

問合せ先	平山 裕世 神戸市中央区栄町通 078-332-2896
------	------------------------------

コトワザ

今まで観光客メインのイベントがほとんどだったので、町の人たちの交流を促すような内容を実施できて、とても有意義だったと思います。

「南京町の歴史を知る写真展」開催準備として写真の選定会の際、たくさんの写真を前になつかしように様々なエピソードを語ってくれた前理事長は、4月に亡くなりました。お元気なうちに、若い世代の人たちへ昔のことを教えていただいたことをうれしく思います。

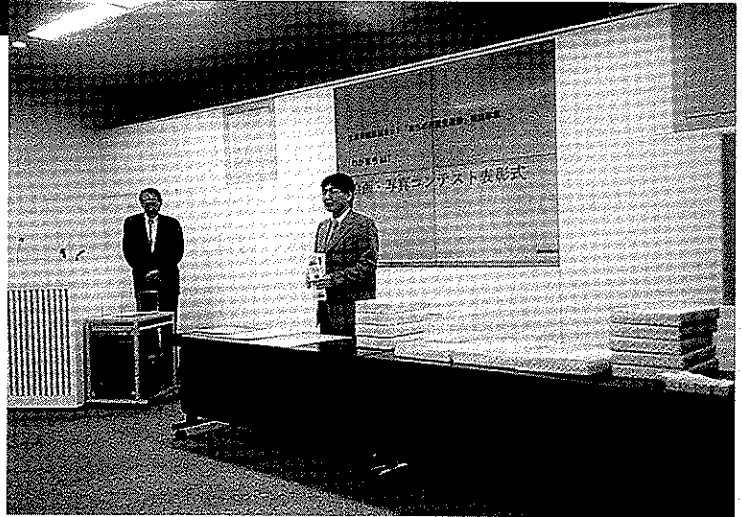
〈南京町商店街振興組合 平山 裕世〉

(10)わがまちHAT 絵画・写真コンテスト

● 脇の浜ふれあいのまちづくり協議会


● 神戸市中央区脇浜海岸通 代表：齋藤 勇

<p>目 的</p>	<p>HAT神戸脇の浜は、新しいまちであり、被災者と高齢者の構成比率が高く、住民の交流は進まず、まちづくりの途上にある。 そのため、住民のまちへの愛着を深め、交流を促進するために、「わがまちHAT絵画・写真コンテスト」を企画する。 作品展を開催し、全員参加型のふれあいと楽しさところ豊かな市民イベントを展開する。</p>																												
<p>内 容</p>	<p>〈絵画・写真コンテスト〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼少の部 ・ 中高の部 ・ 一般の部 <p>兵庫県立美術館において表彰式を行う。</p>																												
<p>地 域</p>	<p>神戸中央区脇浜海岸通 渚中学校区</p>																												
<p>事 業 の 効 果</p>	<p>今まで「脇の浜ふれあいのまちづくり協議会」と「なぎさふれあいのまちづくり協議会」は行政区も違い、自主的に交流することはなかったが、この事業において親密度は深まり、HAT神戸脇の浜、灘の浜の住民交流が活性化し、「わがまちHAT」の連帯が強まった。 また、近隣の商店街との提携、協働で、相互交流の基礎作りもできた。</p>																												
<p>事 業 経 過</p>	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;">6月5日</td> <td>基本構想の検討</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">8月10日</td> <td>春日道商店街振興組合と協賛協議</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">12日</td> <td>なぎさふれあいのまちづくり協議会と共催協議</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">16日</td> <td>大安亭市場協同組合と協賛協議</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">25日</td> <td>後援依頼(兵庫県・神戸市・兵庫県立美術館・神戸新聞社・サンテレビジョン)</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">29日</td> <td>実施計画の策定</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">9月7~31日</td> <td>P.R.活動開始(ポスター掲示・チラシ配布・作品募集)</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">11月8日</td> <td>作品審査会</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">17日</td> <td>表彰式</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">24日</td> <td>作品展覧会(脇の浜地域福祉センター)</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">12月1日</td> <td>作品展覧会(なぎさ地域福祉センター)</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">16~24日</td> <td>作品展覧会(みなと銀行春日野道支店)</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">1月6~17日</td> <td>作品展覧会(中央区役所ペチュニアギャラリー)</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">18~24日</td> <td>作品展覧会(灘区民ホール)</td> </tr> </table>	6月5日	基本構想の検討	8月10日	春日道商店街振興組合と協賛協議	12日	なぎさふれあいのまちづくり協議会と共催協議	16日	大安亭市場協同組合と協賛協議	25日	後援依頼(兵庫県・神戸市・兵庫県立美術館・神戸新聞社・サンテレビジョン)	29日	実施計画の策定	9月7~31日	P.R.活動開始(ポスター掲示・チラシ配布・作品募集)	11月8日	作品審査会	17日	表彰式	24日	作品展覧会(脇の浜地域福祉センター)	12月1日	作品展覧会(なぎさ地域福祉センター)	16~24日	作品展覧会(みなと銀行春日野道支店)	1月6~17日	作品展覧会(中央区役所ペチュニアギャラリー)	18~24日	作品展覧会(灘区民ホール)
6月5日	基本構想の検討																												
8月10日	春日道商店街振興組合と協賛協議																												
12日	なぎさふれあいのまちづくり協議会と共催協議																												
16日	大安亭市場協同組合と協賛協議																												
25日	後援依頼(兵庫県・神戸市・兵庫県立美術館・神戸新聞社・サンテレビジョン)																												
29日	実施計画の策定																												
9月7~31日	P.R.活動開始(ポスター掲示・チラシ配布・作品募集)																												
11月8日	作品審査会																												
17日	表彰式																												
24日	作品展覧会(脇の浜地域福祉センター)																												
12月1日	作品展覧会(なぎさ地域福祉センター)																												
16~24日	作品展覧会(みなと銀行春日野道支店)																												
1月6~17日	作品展覧会(中央区役所ペチュニアギャラリー)																												
18~24日	作品展覧会(灘区民ホール)																												



連携	なぎさふれあいのまちづくり協議会
成果物	〈絵画・写真コンテスト〉
今後の展望	<p>「協の浜ふれあいまちづくり協議会」と「なぎさふれあいのまちづくり協議会」が初めて住民主導の共催イベントを実施し、地域の商業団体、公共施設、兵庫県立美術館などの協力もあり、両地区の交流と親睦が飛躍的に深まった。</p> <p>これからも継続を望む声が高く、地域密着の文化活動は、住民の生活に潤いを与えるだけでなく、まちに活気をもたらし、地域の発展に資するところ大である。</p>

問合せ先	竹内 猛矩 神戸市中央区脇浜海岸通 078-272-0117
------	--------------------------------


 こころ豊かなまちづくりにとって文化活動は不可欠である。こころにゆとりを、生活にたのしさを、そして人生にかたらいをもたらすことは、生きがいの源泉であり、ともすれば孤独化する人生の無常、生命の非情に対する未だ絶望しきらざる生の哲学であろう。真善美の希求は人の精神を輝かす根源である。

〈協の浜ふれあいのまちづくり協議会 竹内 猛矩〉

(11)元町の歴史文化を掘り起こし、元町活性化をめざす事業

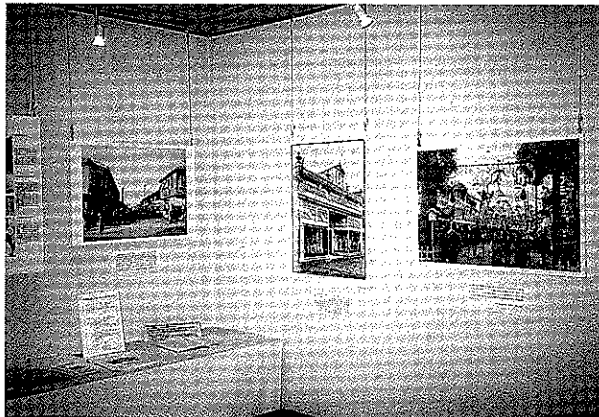
●元町商店街連合会

●神戸市中央区元町通 代表：奈良山 喬一

<p>目 的</p>	<p>かつて神戸の中心街であった元町は、震災や不況もあり往年の元気を失っている。このため、特に西元町周辺に人々が集い感動を呼ぶような起爆力のあるイベントを創出するきっかけとして、高齢者・障害者・子ども達が住み良いまちづくりを提言し、神戸で一番の“ユニバーサルデザインあふれる街・元町”を発進することで、地域福祉活動とともに元町活性化への道を探求する。</p>
<p>内 容</p>	<p>〈意識調査アンケート〉 地域住民の商店街活性化のための意識調査アンケートを各町内全商店を対象に行う。</p> <p>〈CD「元町商店街今昔物語」制作〉 元町商店街の今昔が、写真などで詳しくまとめられているCDを制作する。</p> <p>〈写真パネル展・スイーツストリートスタンプラリー〉 元町の今昔写真展を開催。あわせて、洋和菓子店舗等を巡るスタンプラリーを開催する。</p>
<p>地域</p>	<p>神戸市中央区元町</p>
<p>事業の 効果</p>	<p>〈意識調査アンケート〉 地域活性化にむけての店主の意識も、わずかずつではあるが関心が高まってきており、まずは商店街の現状確認への意識づけとなっていると思われる。</p> <p>〈CD「元町商店街今昔物語」制作〉 元町に伝わる貴重な昔話などを掘り起こすことに繋がるお話をうかがうため、紹介を受けた方々にお会いした。たびたび訪問するうちに次の方を紹介されたり、こんなおもしろい話があると教えていただいたり、昔の元町のいい時代の話を楽しそうに話してくださったり、近所の方々が集まってこられたりと、いろんな世代が交流できるきっかけとなった。</p> <p>〈写真パネル展・スイーツストリートスタンプラリー〉 大変好評で、懐かしいとの声をたくさんいただき、成果があった。商店街に何を求めているか、何が不足しているのか等、スタンプラリー参加者から寄せられた声は、商店街の活性化のために大変な収穫となった。</p> <p>また、「カーポート・ギャラリー」では大丸神戸店の協力を得てパネル展示を開催できた。</p>



事業経過	7月	各商店街に事業説明、情報収集
	8月6日	城西大学生との意見交換
	9月12日	基本構想の検討
	10月4~14日	大丸元町店、走水神社、神戸新聞社等から写真提供。
	19日	パネル作製のために打ち合わせ
	10月23~29日	写真パネル展：元町タイムスリップⅠ開催（大丸元町店カーポートギャラリー）
	22日	商店街のケーキ屋にスタンプラリーに協力依頼
	10日	会場設営
	12月12~14日	写真パネル展、スタンプラリー：元町タイムスリップⅡ開催（元町6丁目商店街）
	16日	イベント終了の報告
19日	イベント反省会	
連携	特定非営利活動法人 あいあいネット神戸	



成果物	<p>〈CD「元町今昔物語」〉500枚</p> <p>〈元町タイムスリップⅠ：写真パネル展〉</p> <p>〈元町タイムスリップⅡ：写真パネル展・スイーツストリートスタンプラリー〉</p>
今後の展望	<p>初めての試みで、いくつかの反省点はあげられるが、定期的にこのようなイベントを繰り返すことで対外的にも知られるようになり、また、店主自身にも将来的な展望が開け、計画的な活性化計画がうまれてくると思われる。</p> <p>また、NPOと連携することにより、新しい感覚で老舗の商店街を活性化するためのアイデアが生まれる可能性があり、今後もこのようなNPOとのかかわりを長期的に続け、次のイベントにつなげていきたいと思う。</p>

問合せ先	岩田 照彦 神戸市中央区元町通 078-391-0831
------	------------------------------


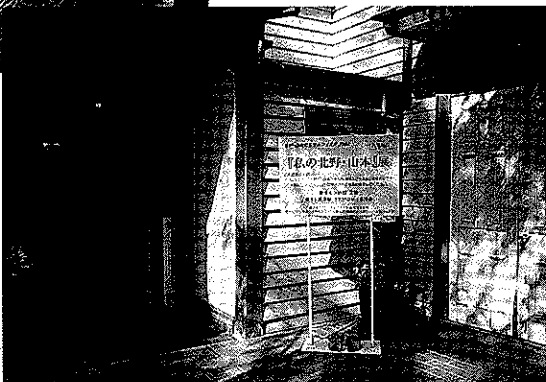
コメント

各事業実施にあたり、地元の方同士とのコミュニケーションが深まったのが、一番の収穫であったと思う。スタンプラリー開催中のため、和洋菓子店を周る中で激励の言葉をもらったり、元町地域の活性化のためにどうしたらいいか等について語る機会が増えたことは、大きな進歩であった。「街づくりは私達の手で！」と実感した今回の事業を契機として、後世に伝え残す街づくりを心がけて行きたい。 〈元町商店街連合会 岩田 照彦 あいあいネット神戸 親谷 和枝〉

(12) まちの記憶を引き継ぐ運動

●北野・山本地区をまもり、そだてる会

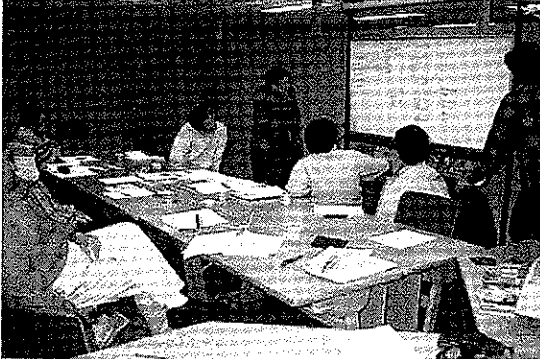

●神戸市中央区北野町 代表：浅木 隆子

目 的	<p>北野・山本地区には、明治以来のエキゾチックで個性的な街並みが形成されており、国際性豊かな生活文化が育まれてきた。これら地区固有の伝統的な「もの」と「こと」を正しく継承することは、今後のまちづくりを展開していくうえでの前提ともなる。そのために、</p> <p>① 地区の特性を形づくる伝統的な「もの」の存在を地区内外の人々に正しく広報し、また各自による発見を促すことによって、その重要性についての認識を共有する。(まちの魅力再発見)</p> <p>② 第二次世界大戦や阪神・淡路大震災を経験した今、かつての当地区で営まれてきた日々の生活を掘り起こし、記録にとどめる。(生活史ドキュメント)</p>
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北野まちなみフェスタ (スタンプラリー、写真等展ミニコンサート、まちなみアンケート) の開催 ・ 生活史ドキュメントの整理
地 域	<p>神戸市中央区北野通、山本通</p>
事 業 の 効 果	<p>商業者や観光業者を含めた住民も一緒になった取り組みで、イベントの充実と拡大、そしてコミュニティの活性化が図られた。山手大学の学生との協働作業を通じ、種々の記録が可能となったほか、中高年に偏りがちな日頃の活動での異世代交流も図れた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

(13)まちの再発見・アートコミュニティマップづくり事業

● 新開地周辺地区まちづくり協議会

● 神戸市兵庫区新開地 代表：高 四代

目的	<p>故淀川長治さんが育ち、最盛期には、劇場映画館が24館あった新開地。震災後新しくなったまちに、かすかに残る当時から受け継がれている香りを探し求め、掘り起こす。</p> <p>栄光の時を知る高齢の店主、新しい夢を追いかけて創業する若い店主、まちの歴史を知らぬ新住民、このまちの動きがおもしろいと音楽祭やガーデニング、寄席などに集まるボランティア等の思い出がひとつになることを目的とする。</p>																		
内容	<p>〈新開地ええとこMAP〉作成</p> <p>新開地の歴史とまちづくりの活動を初めて知る人にもわかりやすく提示するとともに、地域内のMAPを作成する。</p> <p>商業地・娯楽街である地域の特色を明らかにするため、商店を中心にくまなくプロットする。</p>																		
地域	<p>神戸市兵庫区新開地周辺地区 湊中学校／兵庫中学校区</p>																		
事業の効果	<p>MAPという公益的な発行物に対する地域の支援も広まった。特に、民間企業との新たな交流も深まり、MAPの配布・設置にとどまらず、日常のまちづくり活動への協力もあった。</p>																		
事業経過	<table border="0"> <tr> <td data-bbox="284 1122 443 1160">10月8日</td> <td data-bbox="475 1122 767 1160">フリーディスカッション</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1167 443 1205">15日</td> <td data-bbox="475 1167 580 1205">編集会議</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1211 443 1249">17日</td> <td data-bbox="475 1211 660 1249">事業企画の承認</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1256 443 1294">22日</td> <td data-bbox="475 1256 580 1294">編集会議</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1301 443 1339">29日</td> <td data-bbox="475 1301 740 1339">目玉になる歴史の取材</td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1346 443 1384">11月19日</td> <td data-bbox="475 1346 660 1384">実施内容の議論</td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1391 443 1429">11月末～12月中旬</td> <td data-bbox="475 1391 1034 1429">地域内商店・施設の調査 マップ掲載店の確認</td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1435 443 1473">1月初旬～末</td> <td data-bbox="475 1435 1059 1473">写真選定・事実確認・文章作成・デザイン案選定</td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1480 443 1518">2月中旬</td> <td data-bbox="475 1480 884 1518">完成・配布開始（地域内全戸配布）</td> </tr> </table>	10月8日	フリーディスカッション	15日	編集会議	17日	事業企画の承認	22日	編集会議	29日	目玉になる歴史の取材	11月19日	実施内容の議論	11月末～12月中旬	地域内商店・施設の調査 マップ掲載店の確認	1月初旬～末	写真選定・事実確認・文章作成・デザイン案選定	2月中旬	完成・配布開始（地域内全戸配布）
10月8日	フリーディスカッション																		
15日	編集会議																		
17日	事業企画の承認																		
22日	編集会議																		
29日	目玉になる歴史の取材																		
11月19日	実施内容の議論																		
11月末～12月中旬	地域内商店・施設の調査 マップ掲載店の確認																		
1月初旬～末	写真選定・事実確認・文章作成・デザイン案選定																		
2月中旬	完成・配布開始（地域内全戸配布）																		
連携	<p>特定非営利活動法人新開地 まちづくりNPO</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>																		



成果物	<p>〈新開地ええとこMAP〉 15,000部 〈ミニコミ紙・ポスター〉</p>
今後の展望	<p>MAPという性格上、1年を目安に更新が必要と思われる。したがって、主催団体が継続的にリニューアルすることとする。</p> <p>また、鉄道会社などの協力により、地域外にも設置が可能になったことから、地域内の企業などの協力も得ながら、「まちのMAP」として認知させて行くことができていると考えている。</p>

問合せ先	古田 篤司 神戸市兵庫区新開地 078-576-1218
------	------------------------------

コメント

今回の取組みの最大の収穫は、「再発見」というより、未来のまちの行方を多くの方へ知らせることが可能になった、という事でした。

「再発見」の定義を狭くすることなく、主体となる団体も広く受け入れながら、新しい展開がなされることを望みます。

〈特定非営利活動法人 新開地まちづくりNPO 古田 篤司〉

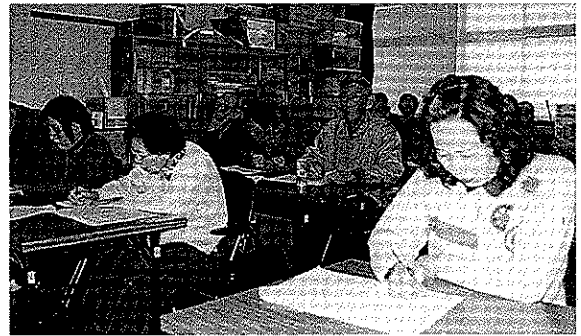
(14)ふるさと今昔探検

●道場町連合自治会

●神戸市北区道場町 代表：宇津 寛

<p>目的</p>	<p>ふるさとの美しい風物や、由緒ある歴史、特産品や名物商店などの再発見の機会を提供し、わが町への誇りと愛着の念を喚起させたい。</p> <p>そのため、地域をくまなく探検し、その成果をガイドブック作製に発展させて町の活性化の原動力としたい。</p>
<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちの風景をテーマにした絵画と写真の展示と郷土の歴史資料を陳列した郷土史展開催。 ・ まちめぐりハイキング ・ まちの再発見運動の成果を結集した冊子作成
<p>地域</p>	<p>神戸市北区道場町 北神戸中学校区</p>
<p>事業の効果</p>	<p>広報紙などで幅広く参加も呼びかけた結果、展示会には大手前大学も加わり、「郷土史教室」(2回)には町外からも多数の参加者を得て、近隣地区(鈴蘭台・花山・大池・有馬・三田市・吉川町など)との知的交流や親睦を深めることができた。</p> <p>さらに、当初予定していなかった「ふれあいのまちづくり協議会」からも協働作業を得て、予想以上の異世代交流を果たすことができた。</p> <p>また、町めぐりの結果を「ふるさと今昔探検」と銘打った冊子にして全戸に配布したところ、「歴史についての話題が増え、親子間の交流も活発になった」と喜ばれ、町外からもガイドブックの先駆的参考書として引き合いも多い。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="284 1279 805 1641"> </div> <div data-bbox="885 1294 1390 2007"> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="284 1682 518 2049"> </div> <div data-bbox="539 1682 805 2049"> </div> </div>

事業経過	6月14日	まちの再発見運動に参加か否かの相談
	17日	応募の書類づくり
	8月5日	説明会参加
	7日	経過報告・事業計画の策定・実行委員の決定
	21日	活動内容をまとめる会議
	24日	道場ニュースに載せるPR原稿づくり
	9月3日	社寺以外にとりあげるべき名所旧跡・施設の選定
	10月9日	印刷・冊子の製本の選定
	20日	まちめぐりハイキング実施（愛岩神社～法性寺～正福寺～平田薬師堂）
	26日	郷土史教室実施
	11月1日	郷土史展の展示物の搬入と陳列作業
	2～3日	絵画写真作品展と郷土史展（道場町文化祭）
	13日	編集会議・原稿のチェックと写真スケッチの整理
	30日	郷土史教室開催
	12月25日	反省会
連携	道場の歴史を学ぶ会、道場町婦人会、道場町老人クラブ	



成果物	<p>〈まちの風景をテーマにした絵画〉</p> <p>〈写真展〉〈郷土の歴史資料〉</p> <p>〈道場町ふるさと今昔探検〉冊子 2,000部</p>
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連合自治会や各種団体・個人など、「まちの再発見運動」を通して、さらに多彩に拡大していく。 ・ 「まちめぐりハイキング」は、今後も年4回続けて実施することに決定した。 ・ 「郷土史教室」も、テーマは道場町の歴史に限定せず、近隣のものも含めて実施して欲しいという参加者の要望に応じて、年4回以上を予定。

問合せ先	宇津 寛 神戸市北区道場町 078-985-3222
------	----------------------------

コメント

道場町は6世紀ごろの古墳群が見られるように古くから発達したところであり、時代が進んで江戸時代には交通の要衝（丹波、攝津、播磨）として宿場町で栄えたなど、歴史が刻まれています。最近では住民も増えてきたが自分の住んでいるところを誇りに思う心が地域コミュニティの原点ではないでしょうか。今回の「ふるさと今昔探検」も自分の町に愛着を持ってもらうとともに、さらによい歴史を後世に残す一歩になれば幸いです。 〈道場町連合自治会 宇津 寛〉

(15) 世代をつなぐ生き生きビデオづくり事業

● 真陽子ども会

● 神戸市長田区久保町 代表：山本 豊久

<p>目的</p>	<p>今回の事業では子どもたちの手によるまちをテーマにした映像制作や、地域住民と共に行う完成作品の鑑賞及び意見交換会など、様々な世代が地域を軸に交流する機会を作ることを目的としている。</p> <p>取材活動を通じて、地域に住む異世代との交流をもち、まちをテーマに映像を制作することで若い世代の地域に対する愛着心を深めたい。</p> <p>また、今後地域の次世代を担う立場である彼らの積極的な地域活動への参加を促す一端となることを期待する。</p>
<p>内容</p>	<p>真陽地域の小学校高学年から中学生までの子どもたちが、自分たちのまちの様子をビデオカメラで撮影、取材し、地元で暮らす大人達や高齢者とのふれあいのの中から、真陽地域の人々、文化、歴史などを紹介するビデオ作品をつくっていく。</p> <p>また、完成した作品をまちの福祉センターなどで地元住民に公開する。</p> <p>さらに、地域を越えてより広く活動を紹介していくために、当団体のホームページ上でも作品を視聴できるようにする。</p>
<p>地域</p>	<p>神戸市長田区真陽地域 長田中学校区</p>
<p>事業の効果</p>	<p>地元の子どもたちがビデオカメラを持ってまちを歩く姿が、商店主や住民の人達に定着し、気軽に声をかけてくれることも多くあった。</p> <p>また、取材先の商店主から地域の昔話を聞くことも多々あり、地域の異世代交流に役立った。</p> <p>地域の次世代の担い手である、子どもたちの地域に対する愛着を育み、さらには、まち全体をあげて子供の育成に取り組んでいこうという、地元の大人達の気運をも大きく向上した。</p> <div data-bbox="284 1431 879 1821" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="703 1619 1390 2060" data-label="Image"> </div>

事業経過	7月27日	技術講習会
	8月22日	子ども達を対象とした技術講習会
	8月24日~9月2日	映像作品作成(企画・取材・編集)
	11月10日	上映会(駒栄児童館)
	24日	映像作品作成(企画・取材・編集)
	12月8日	映像作品作成(企画・取材・編集)
	15日	上映会(たかとりコミュニティー内子どもの館)
	17日	事後スタッフミーティング
20~28日	ミーティング・ホームページ更新・作品をまとめたVHS作品コピー	
連携	ツール・ド・コミュニケーション	



成果物	<p>〈映像作品4本〉「ぼくたちの夏休み」 「真陽おいしいお店たんけん隊」 「真陽おいしいお店たんけん隊ぶたいうら編」「まちなかのふるいもの」</p> <p>〈作品を収録したVHSテープ〉 〈真陽たんけん隊WEBサイト〉</p>
	<p>子どもたちによる映像制作は、真陽の子どもたちの特徴的な活動として、地域に定着しつつあり、今後さらにこの活動を活かした異世代交流による地域の活性化を進めるため、長期休暇を利用して活動を続けていく方針である。</p> <p>長田区内の他地域の子ども会と連携して、取材活動や作品発表会などを実施する準備も進めている。</p> <p>それに向けて、今回の活動の反省点としてあげられた、地域内でのボランティアスタッフ育成について、連携団体及び他地域の子ども会と議論を重ねていきたい。</p> <p>地元の大人たちも発表会への参加などから映像制作に興味を持つ人が多く、今後この活動が「まちなかの情報発信」として、さらなる広がりをみせると予想される。</p>
今後の展望	

問合せ先	山本 豊久 神戸市長田区久保町 078-641-8128
------	------------------------------

コメント

この映像制作活動を通じて、子どもたちが持つ視点の真新しさに驚かされた。企画の段階では子どもたちの持つイメージを捉えにくかったが、完成した作品からはそれぞれの個性や感性が素直に伝わってきた。その成果は、特に「まちなかにあるふるいもの」に顕著に表れていると思う。

今後も、さらに子どもたちが感性を磨きつつ、次世代のまちづくりの担い手として成長していきけるように、この活動に励んでいきたい。 〈ツール・ド・コミュニケーション 村上桂太郎〉

(16)新長田駅北地区魅力アップ事業

●新長田駅北地区東部まちづくり協議会連合会

●神戸市長田区水笠通 代表：横山 祥一

<p>目 的</p>	<p>阪神・淡路大震災によって多大の被害を被り、また震災復興土地区画整理事業の遅れもあり、当地を離れた住民が地元に戻ってこず、空き地ばかり目立っている状態となっている。そのような中で、地域が失った歴史や文化の再構築や地域の魅力をさぐり、地域住民コミュニティの結束を図るきっかけにすることを目的とする。</p>												
<p>内 容</p>	<p>〈地域の現状及び歴史・文化・商業施設などを調査する〉 白地図に、一軒一軒の位置と名称、用途などを記載し、「新長田駅北地区エリアコミュニティ調査住宅地図」を作成する。</p> <p>〈新長田駅北地区全世帯コミュニティアンケート調査〉 地域組織・施設等に対するヒアリング調査、及び全世帯コミュニティアンケートを実施する。</p> <p>〈愛するまちの魅力展〉 地域の今昔写真展、地域のコミュニティアンケート展、いえなみ展、アジアの友達展、愛するまちの魅力展</p>												
<p>地 域</p>	<p>神戸市長田区御屋敷、水笠、細田、神楽、松野 長田中学校区</p>												
<p>事 業 の 効 果</p>	<p>全世帯（約2,000世帯）を対象とした膨大な資料収集、整理により、今後のコミュニティ構築活動の基礎資料として整備できたとともに、写真パネル展等を通じて地域の歴史や現状を広く住民と共有できた。</p>												
<p>事 業 経 過</p>	<table border="0"> <tr> <td data-bbox="285 1285 427 1319">7月8日～8月30日</td> <td data-bbox="472 1285 1070 1319">地域の現状及び歴史・文化・商業施設などを調査</td> </tr> <tr> <td data-bbox="285 1330 427 1364">8月19日～9月7日</td> <td data-bbox="472 1330 1098 1364">新長田駅北地区全世帯コミュニティアンケート調査</td> </tr> <tr> <td data-bbox="285 1375 427 1408">9月4～18日</td> <td data-bbox="472 1375 879 1408">アンケート調査ヒアリングの開始</td> </tr> <tr> <td data-bbox="333 1420 427 1453">9～21日</td> <td data-bbox="472 1420 746 1453">アンケート調査の開始</td> </tr> <tr> <td data-bbox="285 1464 427 1498">9月24日～10月17日</td> <td data-bbox="472 1464 772 1498">アンケートの回収・分析</td> </tr> <tr> <td data-bbox="285 1509 427 1543">10月27日</td> <td data-bbox="472 1509 1374 1543">愛するまちの魅力展(新長田駅北地区東部ふれあい祭り) シューズプラザ周辺地区</td> </tr> </table>	7月8日～8月30日	地域の現状及び歴史・文化・商業施設などを調査	8月19日～9月7日	新長田駅北地区全世帯コミュニティアンケート調査	9月4～18日	アンケート調査ヒアリングの開始	9～21日	アンケート調査の開始	9月24日～10月17日	アンケートの回収・分析	10月27日	愛するまちの魅力展(新長田駅北地区東部ふれあい祭り) シューズプラザ周辺地区
7月8日～8月30日	地域の現状及び歴史・文化・商業施設などを調査												
8月19日～9月7日	新長田駅北地区全世帯コミュニティアンケート調査												
9月4～18日	アンケート調査ヒアリングの開始												
9～21日	アンケート調査の開始												
9月24日～10月17日	アンケートの回収・分析												
10月27日	愛するまちの魅力展(新長田駅北地区東部ふれあい祭り) シューズプラザ周辺地区												





展示コーナー⑤ 地域の今昔写真展4



展示コーナー⑥ 新長田北地区のいそなみ展

成果物	<p>〈新長田駅北地区エリアコミュニティ調査住宅地図〉 〈地域情報誌「駅北コミ」〉創刊号</p>
今後の展望	<p>今回の取り組みを踏まえ「3世代が仲良く交流できる新長田駅北地区魅力アップ事業」として、次年度以降の企画を練っていく。 アンケート結果には、他の歴史や文化資料と関連づけを行う定点調査を実施する。</p>

問合せ先	東 充 神戸市長田区細田町 078-642-2355
------	----------------------------

コメント

震災から約8年間の震災復興土地区画整理事業によって、住む場所の移動を余儀なくされ、崩壊寸前の地域コミュニティは、今回実施した一連の事業によって、自分たちのまちの現状やイベントの楽しさを認識するきっかけとなった。今後のまちづくり活動において大いに勇気づけられました。

ただ、当地域が住商工混在の地域であり、一体となったコミュニティ再構築にはまだまだ時間がかかりそうです。

〈新長田駅北地区東部まちづくり協議会連合会 東 充〉

(17) まちの記憶のライブラリー

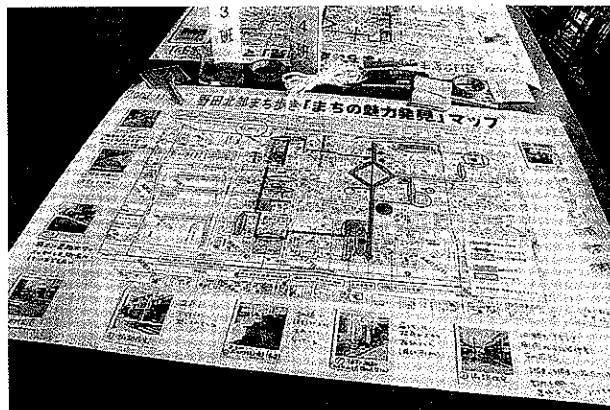
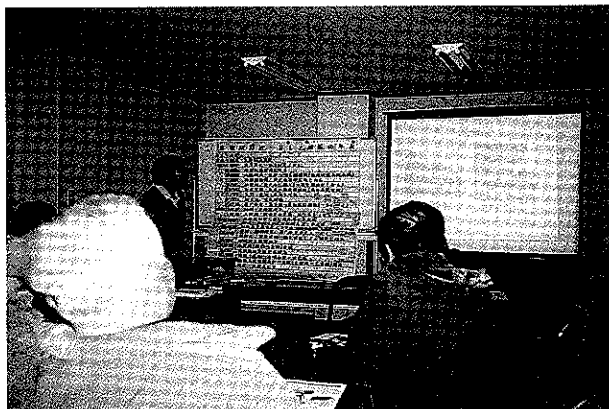
●野田北部まちづくり協議会

●神戸市長田区海運町 代表：浅山 三郎

<p>目 的</p>	<p>野田北部地区のまちづくりの方針は、その中心が「震災以降のハード整備」から「コミュニティづくり」に移り始めている。高齢者同士、子ども同士だけでなく異世代の交流や、新規に地区に転入してくる人々とのコミュニティづくりである。</p> <p>そのため、今後まちづくりを展開するうえで、地域の情報や魅力、問題を整理し、その情報を地域の人々同士が共有しあえる仕組みが必要である。この事業では、まちを実際に歩き現在のまちの魅力や問題を整理すると共に、過去の古い写真をまちなかに展示することで、歴史に関しても知ることができることを目的とする。</p>
<p>内 容</p>	<p>〈古い写真の収集〉 〈まち歩きマップ〉 〈まちかどギャラリーの実施〉</p>
<p>地 域</p>	<p>神戸市長田区浪松町2～4丁目/長楽町2～4丁目/本庄町2～4丁目/海運町2～3丁目 大田中学校区</p>
<p>事 業 の 効 果</p>	<p>「古い写真の収集」による効果 今回の活動で呼びかけたことにより、震災前の貴重な写真を収集することができ、かつデジタルデータで保存できたことから、多くの人に見てもらえる状況になった。</p> <p>「まち歩きマップ」による効果 まちを見学に来る人々を案内できるように地元の人同志で勉強会を開催し、実践を経験することができた。今後の見学者への案内人として活動を展開することができた。</p> <p>「まちかどギャラリーの実施」による効果 個人が持っている街の情報をまとめ展示公開することで、情報を共有することができた。</p> <div data-bbox="411 1435 1262 2018" data-label="Image"> </div>

事業経過

3月14日	平成14年度のまちづくりの活動展開について話し合う
4月11日	まちづくりの情報掲示板の必要性についての話し合い
5月21日	野田北部の歴史の保存についての話し合い
6月13日	まちの再発見運動を展開すること宣伝
7月18日	写真収集活動へ協力してくれるよう依頼
8月10日	わがまち野田北部かわらばん写真の募集記事作成・掲載
11月9日	座談会プログラム作成・写真のデジタル化
10日	まちの再発見写真スライドショー開催
16日	まちの歴史の座談会開催
23日	まち歩きワークショップ開催
12月8日	まちの再発見パネル作成
22日	まちの歴史のパネル展示・野田北部まち歩きパネル展示



成果物

- 〈古い写真のデータ〉
- 〈歴史座談会のまとめ〉
- 〈まち歩きマップ〉
- 〈展示板〉

今後の展望

〈地域内交流から地域間交流への発展〉

まちの再発見運動でわがまちの情報に興味を持った当地区の子ども達に、他地区から子ども達が訪問してきたときに、まちの案内をしてもらう。まち歩きなどを子ども同士が行うことで、交流を発展させていくイベントなどを検討する。

問合せ先

浅山 三郎 神戸市長田区海運町 078-735-9388

コメント

私たちの“まち”野田北部は歴史のあまりない地区と思っていました。それが今回の「まちの再発見運動」での昔の写真展を通して、それなりの時を育ててきていることがわかりました。

また、震災で変った今のまちなみを再確認できたこと、そして昔の地域の先達の努力の上に、今の野田北部という“まち”があるんだなあということが私にとって一番の発見でした。

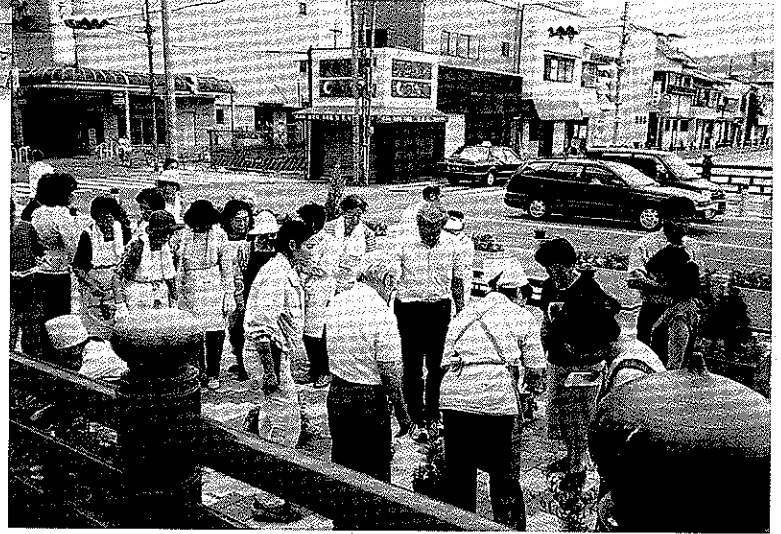
〈野田北部まちづくり協議会 河合 節二〉

(18)長田神社前花街道推進事業

●長田神社地域活性化協議会

●神戸市長田区長田町 代表：五嶋 靖浩

<p>目的</p>	<p>1800年の歴史を持つ長田神社の南地域は門前町として栄え、参道には古くから商店が集積しており、現在も商店街・市場を形成している。昨年から、婦人会の提案を受けて、この通りに花の植栽を地元商店街が取り組み始めている。</p> <p>今回、地域全体を巻き込んで、「長田神社の歴史」と「長田区の花サルビア」を再発見し、参道を「市民手作りの花街通」として地域のシンボルにしていきたい。</p>												
<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当組織の構成メンバーである自治会・婦人会がグループに分かれ、保育園児童等の子ども達と寄せ植えの協働作業をする。 ・ 花の世話を協働で行う。 ・ モニュメントの作成を協働で行う。 												
<p>地域</p>	<p>神戸市長田区長田町 西代中学校区</p>												
<p>事業の効果</p>	<p>参加者はまず、寄せ植えの講習会を受け、保育園児等の子ども達とともに実際に協働作業を行い、異世代間の交流を図ることができた。</p> <p>特に、これからの長田を作っていく子ども達には、自然に親しみ街づくりを実感してもらうことを通じて、住みつづきたい街として愛着を持ってもらうきっかけになったのではないかと期待している。</p> <p>一方、地域をあげての取組みということで、商店街のはみ出し陳列防止をより一層徹底させることができた。</p> <div data-bbox="513 1263 1158 1742" data-label="Image"> </div>												
<p>事業経過</p>	<table border="1"> <tr> <td>9月5日</td> <td>事業全体の検討・モニュメントの企画</td> </tr> <tr> <td>7日</td> <td>寄せ植え講習会・寄せ植え大会</td> </tr> <tr> <td>30日</td> <td>モニュメントについての協議</td> </tr> <tr> <td>11月26日</td> <td>モニュメントの名前の公募について協議</td> </tr> <tr> <td>1月16日</td> <td>街道名 決定</td> </tr> <tr> <td>2月28日</td> <td>反省会</td> </tr> </table>	9月5日	事業全体の検討・モニュメントの企画	7日	寄せ植え講習会・寄せ植え大会	30日	モニュメントについての協議	11月26日	モニュメントの名前の公募について協議	1月16日	街道名 決定	2月28日	反省会
9月5日	事業全体の検討・モニュメントの企画												
7日	寄せ植え講習会・寄せ植え大会												
30日	モニュメントについての協議												
11月26日	モニュメントの名前の公募について協議												
1月16日	街道名 決定												
2月28日	反省会												



成果物	<p>〈サルビア街道の愛称〉（公募のうえ決定）</p> <p>〈サルビア街道のモニュメント〉（花壇三基と名称プレート）</p>
今後の展望	<p>誰もが安全で安心して楽しみながら通行できる道として、地域のみinnで整備していく気運が高まった。近隣の幼稚園・保育所への継続的な協力を呼びかけ、四季おりおりの恒例行事にしたい。</p> <p>事業内容を長田区役所まちづくり推進課に報告したところ、既に長田区山下町でもサルビア街道という名がついていることが判明し、長田区としても、むしろこの名称が拡がっていくことに意義があると歓迎している。</p> <p>当協議会でも「街道」という言葉そのものに拡がるという意味が込められていることから、この事業を拡大していきたい。</p>

問合せ先	村上 季実子 神戸市長田区長田町 078-691-2914
------	-------------------------------------

コメント

当初は婦人会からの要望で重い腰をあげたという感じでしたが、予想以上の反響がありました。私たちが推進している「サルビア街道」の事業における効果の大きさに力づけられ、ますますこの運動を広めて行く為に、活性化協議会にとどまらず、他の団体とも力をあわせて、進めて行きたいと考えています。

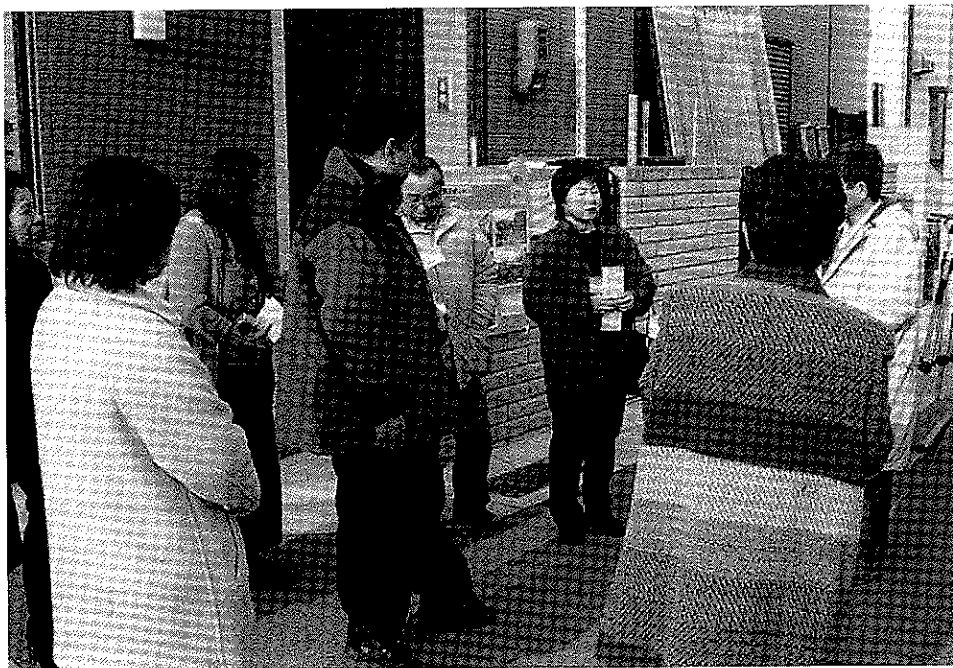
〈長田神社地域活性化協議会 五嶋 靖浩〉

(19)異世代交流を促進する写真とマップ展 震災前後のまちの変化を事例として

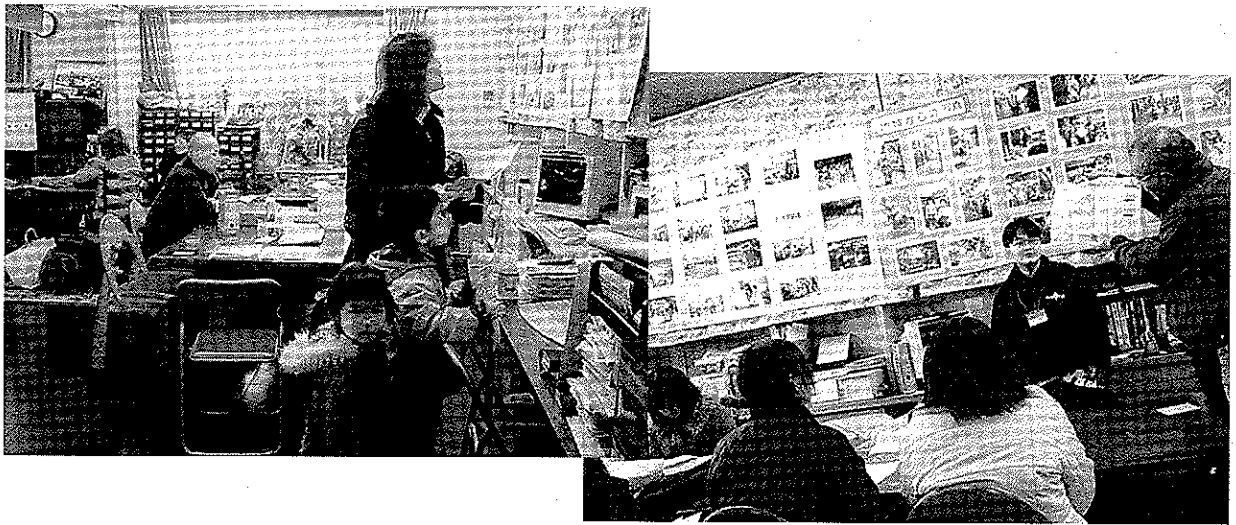
●御蔵通5・6・7丁目町づくり協議会

●神戸市長田区御蔵通 代表：田中 保三

<p>目的</p>	<p>活気ある市場、おばちゃんの井戸端会議、路地に漂うみそ汁のにおいや子どもの笑い声、人々の心の拠り所になっていたお地藏さん…。昔ながらの下町風情のある生活の様子を、消失を免れた写真や、聞き取り調査から再現し、現在の子どものに伝えていきたいと考えている。 また、神戸以外の方にも情報発信し、震災前のまちの様子や復興の教訓、被災者の思い等を共有してもらう。</p>
<p>内容</p>	<p>震災前の様子の写真展開催、子ども達による地域への取材をまとめた壁新聞、まち歩きツアーなどの開催。</p>
<p>地域</p>	<p>神戸市長田区御蔵通 西代、長田中学校区</p>
<p>事業の 効果</p>	<p>子ども達の壁新聞の取材を通じて、まちを見つめるきっかけとなった。 写真展示とまち歩きを兼ねたことにより、震災前から暮らす住民と、震災後暮らし始めた住民との交流となり、震災の教訓として伝えたいという気持ちが地域共通のテーマとなった。 また、写真展来場者には何十年ぶりかでの再会もあり、これら多くの来場者があったことは、地域の元気と自信になった。 準備段階から多くの住民の協力が得られ、また、住民の得意分野も知ることができコミュニティの広がりができた。</p>



事業経過	10月30日	企画会議
	11月6日	企画会議
	19日	企画会議
	25日	写真募集開始
	12月7日	子ども達による地域への取材、壁新聞づくり
	8日	同上
	1月11日	写真展（～17日）
	17日	スライド映画上映（御蔵北公園）
連携	御蔵通5・6・7丁目自治会、まち・コミュニケーション	



成果物	<p>〈子ども達による壁新聞〉〈まち歩きマップ〉〈今と昔街並み比較写真〉〈スライド映画〉 〈写真展〉〈街並みアルバム〉</p>
今後の展望	<p>写真収集を継続して行い、地域共有の財産として大切にする取組みを行いたい。「街あるきマップ」を修学旅行生等の見学者にも提供し、情報発信を行いたい。子ども達が取材を通してまちに興味を持ったことから、今後も継続したい。</p> <p>事業全体を通して得られたネットワークや情報をフル活用し、活気あるまちづくりに生かしていきたい。</p>

問合せ先	宮定 章 神戸市長田区御蔵通 078-578-1100
------	-----------------------------

コトワザ


当地区は、震災直後に起こった火災により大きな被害を受けたため、震災前のまちの様子がわかる写真がほとんど残っていません。また、写真を集めることで、震災という辛くくやしい思い出がよみがえるのではないかとこの思いから、写真を集めることに一番気を使いました。展示しても誰も来てくれないのではないかとこの不安もありました。実際、写真は千枚以上集まり、来場者は三百人以上。写真を見ながら、昔を語り合えました。

〈まち・コミュニケーション 戸田真由美〉

(20) まちの再発見運動

● 青少年育成委員会高倉台支部

● 神戸市須磨区高倉台 代表：岩永 安弘

目的	高倉台団地も設立後30年になり、地域独自の事業に取り組んでいるが、高齢者と子ども・若年代との交流を深め、高倉台団地の住民が誇りと愛着を深めるため、住民同士のコミュニティづくりも含めて行う。	
内容	<p>〈団地内公園スタンプラリー〉</p> <p>公園・広場と名の付くところはすべてポイントとして配置して、地域のすべてを参加者に知ってもらえるよう、高倉台では初めての取組みとして、スタンプラリーを実施する。</p>	
地域	神戸市須磨区高倉台及び多井畑南町 高倉中学校区	
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加された方々から「こんな所にこんな公園があったのですか」との声が数々あがって、まさに参加された方々にとって、まちの再発見となって、地域への愛着が深まった。 ・ 青少協、ふれまち協、子ども会が連携のうえ役割分担して、一つのイベントを遂行するのは初めての試みであったが、和気あいあい、全員笑顔でイベントを実行できた。 ・ 参加者数107名は、必ずしも多いとはいえないかもしれない。しかし、高倉台1丁目から8丁目、多井畑南町まで全ての地域から参加いただき、異世代交流と地区内地域交流を図ることができた。また、親子で参加した方も結構あって、親子のふれあいにも貢献できた。 	
事業経過	<p>9月11日 26日</p> <p>10月4日 27日</p>	<p>「まちの再発見運動」を実施することを青少協で立案決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スタンプラリーの内容検討 ・ 子ども達による絵画展 ・ 山茶花の植樹 <p>子ども会代表者会議 団地内公園スタンプラリー</p>
連携	<p>高倉台ふれあいのまちづくり協議会・高倉台子ども会連合会</p> 	



成果物	〈スタンプラリー〉
今後の展望	<p>次回から、次のように取組みに変化をつけて、継続・発展させていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ できるだけ多くの住民の参加を得るように努力して、より多くの方に、わがまちを再発見してもらおう。 ・ ウォーキングコースを変えて、新しい発見をしてもらおう。 ・ 開催する季節を変えて、自然の変化に気づいてもらおう。 ・ ウォーキングに参加してもらおうことで、住民の健康増進に寄与する。 ・ 地区内地域間交流、異世代交流をより一層推進して、地域住民同士のふれあいに努力して、地域の活性化を図る。

問合せ先	岩永 安弘 神戸市須磨区高倉台 078-734-3980
------	------------------------------

コメント

スタンプラリーは、地域で初開催のイベントでした。公園・広場をポイントに、参加者は風景・会話を楽しみながら地域をウォーキングしました。「こんなところに公園があったんですか」「いつの間にか、外周道路は街路樹が色づいて、紅葉街道を歩いているようですね」「公園に花の咲く樹が欲しいですね」等の声。

そして、なにより嬉しかったのは、「楽しかった。ぜひ、またやってください」と言っていただけのことです。

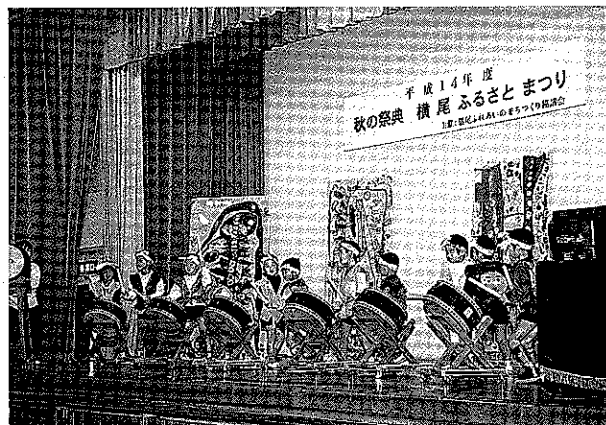
〈青少年育成委員会高倉台支部 岩永 安弘〉

(21)ふるさとづくり

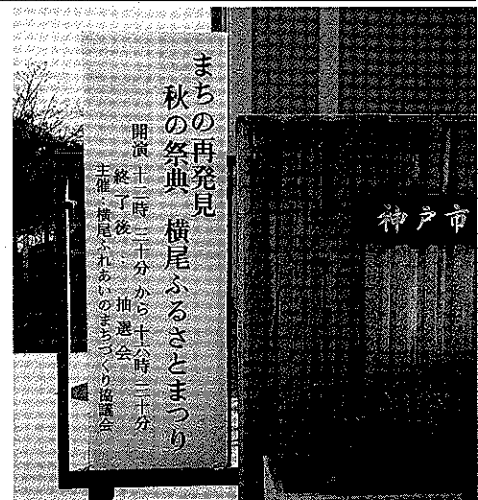
●横尾ふれあいのまちづくり協議会

●神戸市須磨区横尾 代表：美田 周三

目 的	<p>地域の自主的な福祉活動を実施推進して、地域住民の異世代交流や地域のコミュニティづくりの促進と活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 今まで知らなかった横尾のまちのことや、祭りの話を聞く。・ 夏祭りにお神輿を作り、地域への参加を呼びかけて、地域に披露する。・ 横尾ふるさと祭り（歌謡演芸・展示）を開き、普段稽古されていることや文化的なまちの発表会をする。多くの地域住民の参加を呼びかけて紹介をする。まちの風景や地域のビデオを放映する。・ 展示会を開き、まちのビデオや写真、絵などを展示すると共に、今まで知らなかった文化的な作品を紹介する。
内 容	<p>〈祭り神輿の制作〉 〈夏祭り盆踊り〉 〈まちの歌（横尾音頭の曲と踊りの制作）〉 〈秋の祭典 横尾ふるさとまつり〉 〈写真やビデオ展示会〉</p>
地 域	<p>神戸市須磨区横尾 横尾中学校区</p>
事 業 の 効 果	<ul style="list-style-type: none">・ 神輿づくりでは、地域の子どもと大人で作り、住んでいるまちの話をする事で、今まで知らなかったことを知ると同時に、夏祭りで神輿を担ぐことで、自分の住んでいるまちに愛着が生まれ、まちの活性化へとつながった。・ 募集した横尾音頭に、曲や振り付けをし、横尾のまちの音頭として披露し、その稽古で子供と大人の地域の交流が広がった。また、他団体が連携してさらに充実したものとなり、よりよいコミュニティを図ることができた。・ 「横尾ふるさとまつり」では、多くの参加希望があり、子供から高齢者まで幅広い住民が参加し、異世代交流や地域交流ができた。・ 各種団体や地域住民からの申込で、文化的な技術や能力をもったまちの人材の発掘につながった。



事業経過	7月3日	横尾音頭について会議（歌・踊り）
	18日	夏祭りへの地域講座
	24日	踊りの振り付け講座
	28日	神輿づくりと、昔の話し講座
	30～31日	神輿づくり
	8月3～5日	神輿づくり
	9日	やぐら設営
	10～11日	夏祭り盆踊り実施
	21日	ビデオ作品の検討会議
	9～10月	ビデオ取材
	11月16日	各団体や地域住民打ち合わせ
	20～23日	横尾音頭曲合わせ・振り付け指導
	24日	まちの再発見ふるさとまつり実施



成果物	<p>〈まちの曲と踊り〉</p> <p>〈展示用写真・ビデオ〉</p> <p>〈神輿〉</p>
今後の展望	<p>この事業をきっかけとして、沢山の団体と連携することができた。今後も「ふるさとまつり」などの活動を、地域の福祉活動や青少年活動に活かしていきたい。</p>

問合せ先	河野 和子 神戸市須磨区横尾 078-742-1210
------	-----------------------------

コメント

横尾は山が切り拓かれてできた新興住宅地であることから、特に歴史的な史跡等も少なく、子どもたちのふる里として、これから創り上げていかなくてはならないと思っている。初めての取組みとなった「横尾ふるさとまつり」が、大きな盛り上がりを見たことは、今後のまちづくりを進めるうえでの確かな手ごたえを実感した。

今後、「自分たちのふるさとまつり」として、若者が率先して参加し、まちの活性化が図られるようになれば、益々愛着が深まるものと思う。

〈横尾ふれあいのまちづくり協議会 河野 和子〉

(22)神の谷まちの再発見事業

●神の谷ふれあいのまちづくり協議会

●神戸市須磨区神の谷 代表：中村 五郎

目的	<p>阪神・淡路大震災の痛手から地域住民が立ち直り、仮設住宅で暮らす被災者の方々を励ました助け合いの体験を活かして、健康で明るく楽しいコミュニティを構築するために、地域のお年寄や婦人、子ども達の異世代交流を図り、わがまち神の谷の生い立ちや歴史を学習して、まちの素晴らしさを再確認し、愛着を覚えるまち、地域づくりを目指す。</p>																		
内容	<p>〈夏祭り盆踊り大会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたち同士でも楽しみ、また大人やお年寄りとの会話や交流を深められる工夫を盛り込んだ夏祭りを行う。 PRポスターを神の谷小学校児童が描き、参加意識を高める。 <p>〈ホリデーイン 神の谷〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「神の谷グリーン調べ隊」を結成し、地域内の道路や公園・団地をあるき、街路樹や草木の名前を調べ、自分達のまちの緑と住みよさを再発見する。 食べ物コーナー・マジック・フリーマーケットなどで、賑わいとふれあいを高める。 																		
地域	<p>神戸市須磨区神の谷1～7丁目、北落合4丁目 神の谷小学校区</p>																		
事業の効果	<p>今回の事業に取り組むことにより、委員・ボランティアスタッフを含め、地域活動に参加している人たちの連帯が活性化した。</p> <p>さらに全戸配布の広報誌に加え、学校を通じて働きかけたことにより、子ども達が大勢参加し、大人やお年寄りとの会話や交流を深めることができ、地域コミュニティに明るい展望を開くことができた。</p>																		
事業経過	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="280 1379 440 1413">7月1日</td> <td data-bbox="472 1379 847 1413">子どもによるポスター作製依頼</td> </tr> <tr> <td data-bbox="360 1424 440 1458">6日</td> <td data-bbox="472 1424 528 1458">会議</td> </tr> <tr> <td data-bbox="360 1469 440 1503">22日</td> <td data-bbox="472 1469 799 1503">ポスター掲示・分担を決定</td> </tr> <tr> <td data-bbox="360 1514 440 1547">27日</td> <td data-bbox="472 1514 1086 1547">会場設営・模擬店出店・警備などの準備分担を決定</td> </tr> <tr> <td data-bbox="280 1559 440 1592">8月3日</td> <td data-bbox="472 1559 799 1592">〈夏祭り盆踊り大会 実施〉</td> </tr> <tr> <td data-bbox="360 1603 440 1637">19日</td> <td data-bbox="472 1603 528 1637">会議</td> </tr> <tr> <td data-bbox="280 1648 440 1682">10月28日</td> <td data-bbox="472 1648 1390 1715">まちの再発見のお話し、マジック、フルート演奏の講師を決定し、グリーン調べ隊の結成とアンケート内容を決定。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="280 1727 440 1760">11月2日</td> <td data-bbox="472 1727 1070 1760">子供コーナー・食べ物コーナーなどの分担を決定。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="360 1771 440 1805">23日</td> <td data-bbox="472 1771 767 1805">ホリデーイン神の谷実施</td> </tr> </table>	7月1日	子どもによるポスター作製依頼	6日	会議	22日	ポスター掲示・分担を決定	27日	会場設営・模擬店出店・警備などの準備分担を決定	8月3日	〈夏祭り盆踊り大会 実施〉	19日	会議	10月28日	まちの再発見のお話し、マジック、フルート演奏の講師を決定し、グリーン調べ隊の結成とアンケート内容を決定。	11月2日	子供コーナー・食べ物コーナーなどの分担を決定。	23日	ホリデーイン神の谷実施
7月1日	子どもによるポスター作製依頼																		
6日	会議																		
22日	ポスター掲示・分担を決定																		
27日	会場設営・模擬店出店・警備などの準備分担を決定																		
8月3日	〈夏祭り盆踊り大会 実施〉																		
19日	会議																		
10月28日	まちの再発見のお話し、マジック、フルート演奏の講師を決定し、グリーン調べ隊の結成とアンケート内容を決定。																		
11月2日	子供コーナー・食べ物コーナーなどの分担を決定。																		
23日	ホリデーイン神の谷実施																		
連携	<p>神の谷コスモスクラブ、神の谷婦人会</p>																		



成果物

〈夏まつり盆踊り大会〉

- ・ PRポスター … 80枚（神の谷小学校児童の作品）

〈ホリデーイン神の谷〉

- ・ グリーン調べ隊のアンケート調査…交流のきっかけとするとともに子どもたちの参加意識を高めた。
- ・ 子供コーナー・食べ物コーナーでのスナップ写真

今後の展望

夏祭り、ホリデーイン神の谷では子どもの参加も多く、異世代交流は大変盛り上がったが、「グリーン調べ隊」は昼食休憩をはさんで街へ出たので、参加者が少なかった。

今後は、プログラムの組み方、時間設定などを工夫し、よりよい街の行事になるよう地域に定着させていきたい。

問合せ先

中村 五郎 神戸市須磨区神の谷 078-791-8892

コメント


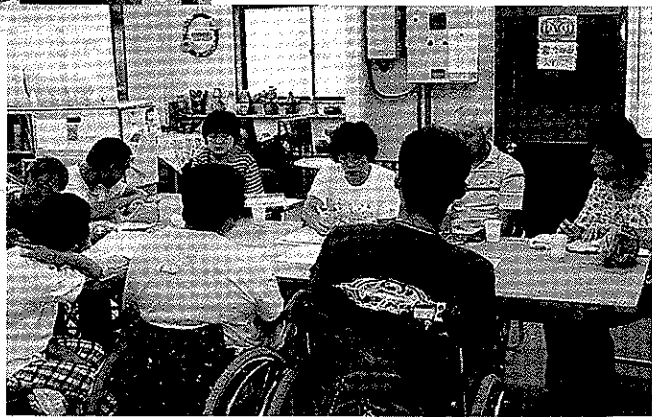
道路・公園・街並みや生活基盤施設の整った利便性に優れたニュータウンだが、20数年も経てば、子どもたちにとってこの街は生まれ育った故郷であり、いろいろな経験を積み重ねて育ってきたことを「再発見事業」は大人たちに教えてくれた。

地域行事と学校行事に相互に参加して、素直で明るく個性豊かな子どもたちに接し、改めて子ども達の健全な成長に役立つよう、安全できれいで明るい街づくり、楽しく元気で住みよいコミュニティづくりに尽くしたいと思う。 〈神の谷ふれあいのまちづくり協議会 中村 五郎〉

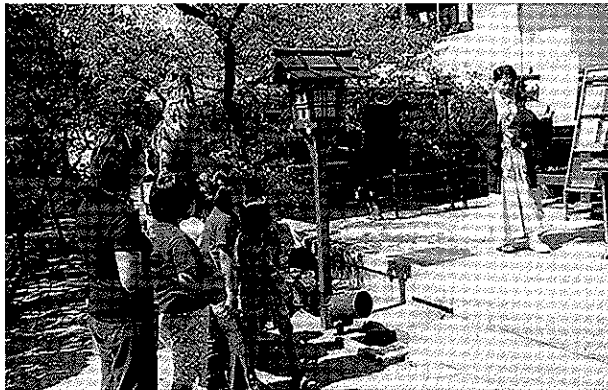
(23) 「西須磨、新ふるさとマップ」づくり

●福祉ネットワーク西須磨だんらん

●神戸市須磨区南町 代表：岡本 碩也

<p>目的</p>	<p>ふるさとを遠くに求めるのではなく、今住んでいるまちの中に、新しいふるさとを見つけ出す。年をとっても、障害を持っていても、安心して暮らせるまちの要件を、地域の人々が協力して探し出し、地図に落とし込む作業のなかで、自分の町をこころのふるさととして、愛しむ気持ちを育てることを目的とする。</p>
<p>内容</p>	<p>〈西須磨、新ふるさとマップ〉作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史・文化・環境面から「再発見ウォーク」をする。 ・ 「再発見ウォーク」の結果を、新ふるさとマップにする。 ・ バリアフリー・介護保険の視点をマップに入れる。
<p>地域</p>	<p>神戸市須磨区 高倉・鷹取中学校を含む西須磨地区 高倉・鷹取中学校区</p>
<p>事業の効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「まちの再発見ウォーク」に40人以上の大人・子どもが参加して、歴史・文化・環境それぞれのコースで、このまちの素晴らしさが再発見できた。 ・ マップづくりを通して、町名の由来をたどることができ、歴史、文化、環境等が豊かな西須磨を知ることができた。 ・ これまであまり関心のなかった地域の祭にも、目を向けるようになり、祭がこれからも地域に根づくように見守る気持ちが生まれた。 ・ いくつかの地元自治会との連携が図られた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

事業経過	7月29日	マップ内容と、担当を決める
	8月16日	須磨区まちづくり推進課より写真を借りる
	23日	マップについての勉強会・再発見ウォークについて検討会
	24日	須磨寺、子ども会と打ち合わせ
	29日	マップについての勉強会
	9月10日	マップ内容検討・ウォーク資料づくり
	17日	ウォーク打ち合わせ
	23日	まち再発見ウォーク
	12月10日	「新ふるさとマップ」完成
	19日～	マップ配布作業
連携	月見山連合自治会、天神町1・2丁目自治会	



成果物	〈新ふるさとマップ 西須磨・私たちのまち〉 1,000部
今後の展望	<p>このマップによって、西須磨がこんなに素晴らしい歴史や文化があることを知ってもらい、こころのふるさとを感じてもらった。一方、古くから続く行事が少ないこともわかり、次回マップの改訂時には行事関係についても検討したい。</p> <p>多くの方々にマップを見てもらうことによって、西須磨を愛する人が増えることを希望している。</p>

問合せ先	日笠 昭子 神戸市須磨区南町稲葉プラザ2F 078-731-2430
------	------------------------------------

コメント

「西須磨、新ふるさとマップ」を作るにあたって、まちの再発見ウォークを実施しました。歴史、文化、環境コースという、それぞれのコースが大きなイベントになるウォークを一日で3コース同時に行ったので、充分なことができなかつた。そのため、次の機会には、ひとつのことに集中して取組もうと考えています。 〈福祉ネットワーク西須磨だんらん 日笠 昭子〉

自然と人間との共生人の輪づくりを旨とす

(24)天井川公園まつり

●天井川公園を育てる会

●神戸市須磨区北町 代表：各務 豊和

目的	<p>〈自然と人間との共生を旨とす〉 南へ10分も歩けば渚に着き、北へ10分歩けば里山の緑と静寂の中に立つことができる。そんな須磨の旧市街地の自然のすばらしさと、失ってしまった自然を再発見する。</p> <p>〈人の輪づくりを旨とす〉 子どもも大人も年よりも、安心して育ち、そして老いることのできる地域づくりは、地域住民のつながり、特にアクティブに活動する各種団体のネットワークづくりにあることを再認識する。</p>																				
内容	<p>〈天井川公園まつり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境展示 ・ リサイクルバザー ・ 子供向けゲーム・屋台の出展 ・ ステージ発表 ・ 協賛セール 																				
地域	<p>神戸市須磨区旧市街地中部地域 鷹取・中央飛松中学校校区</p>																				
事業の効果	<p>広報経費が充実し、プログラムを個別配布や近隣小中学校にも配布できたことで、昨年を大きく上回る方の参加や出店があった。また、外国籍の住民の参加も増えた。</p> <p>環境展示の内容が充実し、区民センターギャラリーでの展示に繋がるなど多くの方への情報発信ができた。</p> <p>このように、まつりの規模が大きくなり、自治会などの地域団体をはじめ、地域のテーマ系市民団体や学生ボランティアの協力も得られ、互いに顔なじみになり、必要なときに共に集まれる関係づくりの基本ができた。</p>																				
事業経過	<table border="1"> <tr> <td>8月1日</td> <td>実行委員会</td> </tr> <tr> <td>5日</td> <td>参加と協力の呼びかけ文書配布・発送作業</td> </tr> <tr> <td>9月18日</td> <td>プログラムの配布・発送作業</td> </tr> <tr> <td>28日</td> <td>ステージ企画・環境展示作業</td> </tr> <tr> <td>10月13日</td> <td>会場設営</td> </tr> <tr> <td>14日</td> <td>ステージ・環境展示・</td> </tr> <tr> <td>15日</td> <td>イベント</td> </tr> <tr> <td>26日</td> <td>公園ニュース編集会議</td> </tr> <tr> <td>11月18日</td> <td>公園ニュース配布・発送作業</td> </tr> <tr> <td>19~25日</td> <td>環境展示パネル出展(須磨区民センター)</td> </tr> </table>	8月1日	実行委員会	5日	参加と協力の呼びかけ文書配布・発送作業	9月18日	プログラムの配布・発送作業	28日	ステージ企画・環境展示作業	10月13日	会場設営	14日	ステージ・環境展示・	15日	イベント	26日	公園ニュース編集会議	11月18日	公園ニュース配布・発送作業	19~25日	環境展示パネル出展(須磨区民センター)
8月1日	実行委員会																				
5日	参加と協力の呼びかけ文書配布・発送作業																				
9月18日	プログラムの配布・発送作業																				
28日	ステージ企画・環境展示作業																				
10月13日	会場設営																				
14日	ステージ・環境展示・																				
15日	イベント																				
26日	公園ニュース編集会議																				
11月18日	公園ニュース配布・発送作業																				
19~25日	環境展示パネル出展(須磨区民センター)																				
連携	<p>月見山連合自治会、松風住宅自治会、東須磨自治会 稲葉安心コミュニティープラザふれあい協議会</p>																				



成果物

- 〈天井川公園・その周辺の環境調査〉
- 〈写真展示パネル〉
- 〈天井川公園まつり〉
- 〈天井川公園ニュース〉

今後の展望

今後、近隣小中学校の先生方の参加を得て、地域の子も達が「まち・川・里山の探検」や「総合学習科目での地域の具体的なデータ、素材をもとにした学習活動」にも直接利用できる「環境読本づくり」と、それに必要な「人の輪づくり」に発展させたいと願っている。

問合せ先

佐藤 三郎 神戸市須磨区南町 078-733-3560

コメント

「よくここまで育ってきたな」というのが実感です。6年前の公園オープニング行事の費用捻出のために、最初に広告集めに取り組んだ時、気疲れて「二度といや」という声があがりました。今では「なぜ、広告出してほしいという声がかからんのか」との苦情が聞こえる。

次の祭りにも、当然参加のつもりの各種団体のネットワークが、地域づくりの財産だとつくづく思います。

〈天井川公園を育てる会 佐藤 三郎〉

(25) さわやかまちづくり

● 尼崎市南武庫之荘3丁目社会福祉協会

● 尼崎市南武庫之荘 代表：山崎富士好

目的

“顔の見える人間関係づくり”行事を通じて、自分たちのまちは自分たちの手で創り上げていく楽しさを共感していく。そして、住民意識を高めていく。

夏祭り、あいあい市を市民交流の場に、生きがいの場づくりに、そして、発表の場にしながらゴミ問題、環境問題もリサイクル活動の中から考えていきたい。

内容

地元小学校で生まれた「立西音頭」を中心とした夏祭り、ゲスト招へいから住む人の活動発表の場にしたいあいあい市の開催。

地域

尼崎市南武庫之荘 南武庫之荘中学校区

事業の効果

夏祭りでは、子どもの意見を取り入れたことから、父母や商店街の参加があり、これまでにない盛り上がりを見せた。立西音頭の練習を通して、子ども達だけでなく、その父母、高齢者の方たちへと参加の輪が広がり、地域での顔つながりができた。

一方、あいあい市では、出演希望者が多く、また高齢者の生き生きとした表情がうかがわれた。

また、養父郡八鹿町からの無農薬野菜市をきっかけに、相互の交流が始まった。



事業経過	5月	夏祭りのあり方検討
	5月27日	あいあい市のあり方検討
	8月23日	踊りの練習の企画
	7月15日	会場清掃活動（老人会、子ども会）
	19日	同上
	29日	あいあい市打ち合わせ
	8月23日	夏祭り
	24日	同上
	10月26日	あいあい市打ち合わせ
	11月3日	あいあい市
4日	同上	
連携	波紋グループ、寿老人会	



成果物	<p>〈「立西音頭」の紹介〉〈子ども達による広報ポスター〉〈申田公園(会場)の清掃活動の定着〉 〈あいあい市への多数の出演者〉</p>
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り 立西音頭を中心とした今回企画の定着化を図る。 申田公園の清掃作業への積極参加の呼びかけ。 ・あいあい市 養父郡八鹿町との交流事業を検討。 2日間で2万5千人の人出もあり、地域に住まわれる方の活動発表の場として定着を図りたい。

問合せ先	山崎 富士好 尼崎市南武庫 06-6437-2418
------	----------------------------------

コメント


高齢者がだんだんと多くなり、若い人たちも職場中心の生活で、地域の中で出会いふれ合いの場が少なくなってきた。このようなときに“まちの再発見”のきっかけをいただいたおかげで、マンネリ化していた祭りのあり方を、今後何を大切にどのように継承していくか皆で考え話し合った。子どもたちにとって故郷となるこの土地の祭りを子どもたちが主役で行おうと、住む人皆の協力をいただいて和が輪となった。“来年も頑張ろう”と地域がひとつに結ばれた。この企画に感謝している。

〈尼崎市南武庫之荘3丁目社会福祉協会 山崎富士好〉

(26)わがまち再発見ウォークラリー

●金楽寺社会福祉連絡協議会

●尼崎市金楽寺町 代表：田之上鉄男

<p>目的</p>	<p>ふだん何気なく見ているわがまちを、家族やグループでゆっくりわいわいとウォークラリーでまわることによって、わがまちの良さを再発見したい。また、地域の高齢者、子ども達や障害者をはじめとする地域住民の交流の場として、秋の一日を過ごせるイベントとしたい。</p> <p>そして、事前の打ち合わせ会（コース設定・ラリー用地域マップ作成等）を多くの方が参画することで、みんなでわがまちを考える地域ぐるみのイベントとして、運営していけるようにしたいと考える。</p>	
<p>内容</p>	<p>地域の公共施設や高齢者施設・障害者施設や、公園を中心に、「我が町の素敵なところ」をまわるウォークラリーを行う。</p>	
<p>地域</p>	<p>尼崎市金楽寺町 育英中学校区</p>	
<p>事業の効果</p>	<p>計画時点では、役員や担当者が中心であったが、徐々に協力者も増え、ポイント設定を依頼した団体（施設）の賛同も得られ、今後地域内での交流や連携の推進に向けて、大きな一歩となった。</p> <p>幼稚園児や車いす生活の高齢者も参加できたことは、大きな意義があった。</p>	
<p>事業経過</p>	<p>8月20日 9月7日 21日 10月12日 13・26日 11月3日 10日</p>	<p>基本構造の検討、策定と今後の予定について 実施内容の検討と、意見集約 実施準備の役割分担の協議 ウォークラリーコースの策定 コースを歩き、ポイントを確認 準備状況の確認 ウォークラリー当日の運営と役割分担について 金楽寺わがまち再発見ウォークラリー実施</p>
<p>連携</p>	<p>NPO在宅福祉支援グループコスモス</p> 	

**金楽寺 ふるさと再発見
ウォークラリー**

2002年11月10日(日)
午後2時45分終了

ポイント①【石のついで】
金楽寺の石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで

ポイント②【石のついで】
金楽寺の石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで

ポイント③【石のついで】
金楽寺の石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで

ポイント④【石のついで】
金楽寺の石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで

ポイント⑤【石のついで】
金楽寺の石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで

ポイント⑥【石のついで】
金楽寺の石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで

ポイント⑦【石のついで】
金楽寺の石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで

ポイント⑧【石のついで】
金楽寺の石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで

ポイント⑨【石のついで】
金楽寺の石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで

ポイント⑩【石のついで】
金楽寺の石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで
石のついでとは、石のついで

成果物	<p>〈協力団体との関係〉 お互いに協力しあえる関係が築けた。 〈ウォークラリー用マップ (スタンプラリー)〉</p>
今後の展望	<p>日常的な地域の団体 (施設) 間の交流も計画し、来年度は、地域総ぐるみのイベントを行いたい。 また、今回のマップの活用もし、ミニウォークラリーの実施や地域のジョギング・散歩コースを実施していきたい。</p>

問合せ先	NPO在宅福祉支援グループ・コスモス 尼崎市金楽寺町 06-6481-3363
------	-----------------------------------------

コトワザ

晴天にめぐまれたウォークラリー。車いすの高齢者や体の不自由な障害者のみなさんも参加されました。普段に遊んでいる所なのに「場所が分からない!」という小学生が何人もいたのは、意外でした。

たくさんの皆さんの交流と共に、本当に「わがまち再発見」となったウォークラリーでした。このコース図は、ミニデイサービスの地域探訪等でも活用されており実施してよかったと喜んでます。

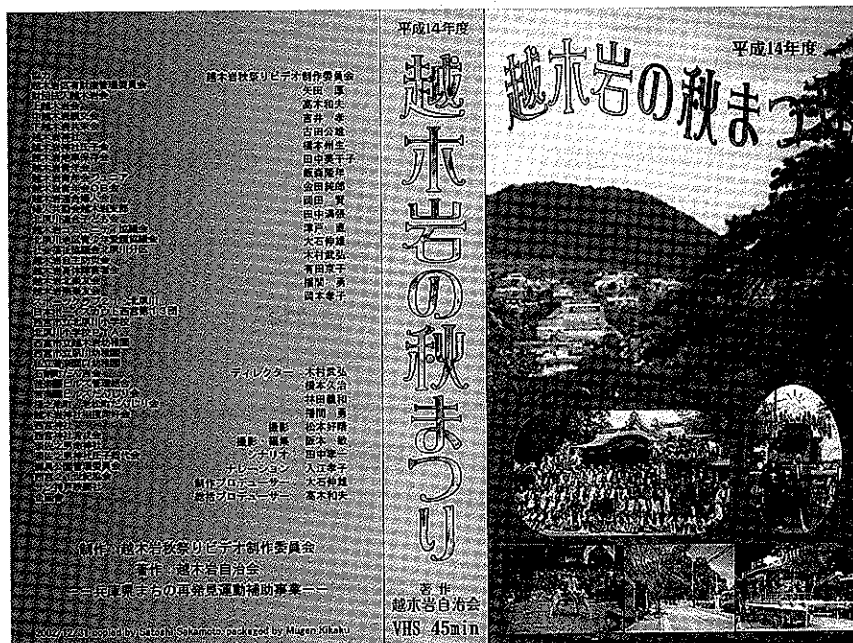
〈NPO在宅福祉支援グループ・コスモス 福本 吉雄〉

(27)越木岩秋祭り紹介ビデオ製作

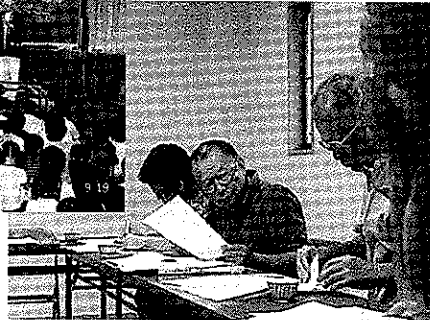
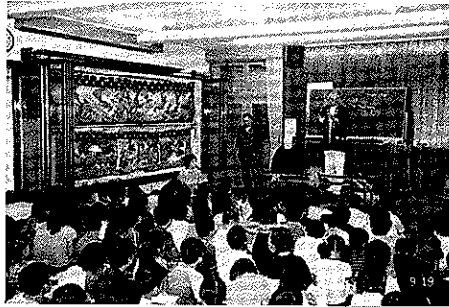
●越木岩自治会

●西宮市豊楽町 代表：矢田 厚

<p>目的</p>	<p>「越木岩地域の一日も早い復興を」と、自治会をはじめ各地域団体が一丸となって、住みよい街づくり地域のコミュニティ作りを推進する。</p> <p>また、秋祭りを異世代交流と地域のコミュニティづくりをかねて、これらの様子をビデオに収めて地域内外に配布広報し、地域への誇りと愛着を一層高め、さらにわが町ふるさとづくりと地域活性化を促進する。</p>
<p>内容</p>	<p>〈越木岩地域の秋祭りビデオ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 素材の選定やシナリオ、編集、ナレーションまで住民の手により行う。 ・ ビデオを収録にあたっての勉強会では地域の歴史を語る方を講師に依頼する。
<p>地域</p>	<p>西宮市越木岩地区 苦楽園中学校区</p>
<p>事業の効果</p>	<p>各団体で議論を重ねるうちに、各団体の地域に対する思いや意見を改めて知ることとなり、各団体が子ども達に対する愛情や、地域の人達みんなに対する前向きな思いは、共有であると感じあえた。</p> <p>今回の企画に参加いただいた方々が、地域活性のリーダーとして諸団体との今後の連携を深めることができた。</p> <p>成果物（ビデオ）は、各学校（高校2、中学校1、小学校3、幼稚園3、保育所1）に教育資料として提供でき、越木岩コミュニティ協議会や北夙川地区青少年愛護協議会などでも、地域活性化や青少年育成のための事業で取り上げられた。</p>



事業経過	7月22日	ビデオ制作打ち合わせ スタッフ募集
	28日	ビデオ制作委員会
	8月7日	スタッフ会議 事業展開の役割分担
	25日	ビデオ制作委員会
	9月7日	「祭り・地車文化」講演会
	8日	スタッフ会議 撮影ポイントの検討
	13日	撮影地点の調査・祭り準備の撮影
	14~20日	撮影場所の最終チェック・祭り準備の撮影
	21~23日	〈祭り 本番〉
	10月~11月	編集方針の確認・編集会議
	12月11日	秋祭り調べ発表会（小学生）
	5~23日	編集会議
	25日	試写会



成果物	〈越木岩秋祭り紹介ビデオ〉
今後の展望	<p>「越木岩の秋祭り」ビデオを、教育の場・青少年育成の場・コミュニティの場など、できる限り広範囲な場所で活用することによって、地域の活性化と、異世代交流、住民の絆が形成され、越木岩が「住んでよかった」といわれる「心のふるさと」になることを願っている。</p> <p>今後、各種団体長が出席する会議において、今回の取組み成果を踏まえて議論を行っていく。</p>

問合せ先	高木 和夫 西宮市松ヶ丘町 0798-72-3716
------	----------------------------

コメント

自分たちの手でシナリオから撮影編集までをやり抜くことの大変さが、いま身にしみています。まずできるだけ多くの方の意見を聞くこと、そして撮影ポイントを具体的に設定していくこと、実際に撮影すること等々。そして、20時間以上におよぶ撮影素材を45分にまで縮める編集作業は毎日深夜まで議論し、1本のビデオが完成しました。

この1本のビデオが地域にもたらす効果は、自信を持って大賞ものであると言えます。

〈越木岩秋祭りビデオ制作委員会 大石 伸雄〉

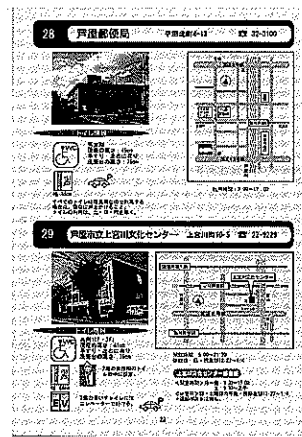
(28) みんなで考える芦屋のまちのバリアフリー

● 芦屋おたすけたい

● 芦屋市松浜町 代表：加藤 純子

<p>目 的</p>	<p>震災によりまちの様変わりは著しい。そこで特に震災の被害のひどかった地区の自治会や商業施設の協力により、まちの現状を話し合いこれからの芦屋のまちのあり方を考えていく。この話し合いをもとにさらに広げ、芦屋市全体のバリアフリーをテーマに「やさしい芦屋のまちづくり」を推進し効果を求める。地域での話し合いを通して市民が芦屋の町全体を考えていくことにより、市民参加型の町づくりになる。</p> <p>住民情報や各ボランティアグループ、福祉関係者とのネットワークを通して、芦屋市全域のバリアフリーに関する意識調査、問題点を考え、バリアフリー情報冊子を作成・配布する。</p>
<p>内 容</p>	<p>〈アンケート調査〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアグループに協力してもらい、中学・高校生や、まちの人々に、バリアフリーの意識調査アンケートを実施。 <p>〈バリアフリー情報雑誌〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ほっとタウン芦屋」と名をつけ、市内の車いす用トイレガイドを冊子にする。 <p>〈ワークショップ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報交換しながら、お互いの活動を通じて、ネットワークをつくる。 ・ 自治会の集まりで、公園建設に伴うまちづくりを話し合う。
<p>地 域</p>	<p>芦屋市全域</p>
<p>事 業 の 効 果</p>	<p>〈アンケート調査〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートを実施することによって、バリアフリーに関して、改めて見つめなおし、考え直すきっかけとなった。 ・ 各自治会からのアンケートでは、住みやすいまちづくりを求めているコメントが多い。学生からは、ハード面よりソフト面のバリアフリーについての意見が多かった。 <p>〈バリアフリー情報冊子〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車いすトイレのある施設にアンケートを重ねるうちに、車いすトイレに対する施設側の意識が変わっていき、改善されたトイレが多くなった。 <p>〈ワークショップ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークショップに参加したことにより、「芦屋おたすけたい」の意見で「芦屋市総合公園」の障害者トイレが、もっと使いやすいように計画変更された。

事業経過	7月27・28日	これからの芦屋のバリアフリーについて検討
	9月2日	バリアフリー推進実行委員会 会議
	10月9日	アンケート用紙印刷・配布先リストアップ
	13日	アンケート調査（あしや秋祭り：精道小学校）
	18～19日	アンケートの回収期日と方法について アンケート用紙配布
	23～24日	中高生にアンケート調査依頼・配布
	27日	フリーマーケット会場にてアンケート実施
	10月30日～11月15日	アンケート用紙回収
	12月6～20日	会議 アンケート集計データ検討
	12・20日	アンケート用紙回収
	21日	会議 アンケート内容検討
	25日	会議 アンケート集計報告書作成など
連携	大槻町自治会、公光町自治会、茶屋之町自治会、芦屋市商工会 芦屋市身体障害児・父母の会	
成果物	〈「芦屋市内のバリアフリー化を考える アンケート集計報告書」〉 〈バリアフリーガイド～トイレ編「ほっとタウン芦屋」〉	
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査の結果、改善すべき希望箇所については、関係する施設などとの話し合いを持つ予定である。 アンケート調査・公園ワークショップ・バリアフリー冊子作りを通して広く福祉団体・各ボランティアグループ・商工会などとのネットワークができ、情報交換や活動の連携をとる。さらに、今後芦屋市行政との連携事業に発展させる。 	



問合せ先 加藤 純子 芦屋市松浜町 0797-31-7405

コメント

「芦屋が誰にとっても“やさしい町”に」、そう考えて始めた思いが「ほっとタウン芦屋」の冊子になりました。見て楽しい、大切に扱ってほしいとの願いも込めてカラー版とし、無料での配布としました。



多くの方から希望が寄せられ、冊数の関係上、高齢者・障害者の方を優先に配っています。市外県外の方からも購入希望がありました。この情報をもっと多くの方々へ届けるため、また内容の更新を容易にするためには、ホームページでの掲載が必要と考えます。

〈芦屋おたすけたい 加藤 純子〉

(29)伊丹郷町再発見写真パネル展

●あしたの伊丹の(まち)を創りだす会

●伊丹市中央 代表：鈴木 嘉藏

<p>目的</p>	<p>伊丹市有岡城内に旧伊丹郷町があるが、阪神・淡路大震災後、再開発事業により、昔の良きまちを知る者も少なくなってきたうえ、郷町を知る人も高齢になり、伝統が受け継がれなくなってきた。</p> <p>そこで、今回「郷町再発見写真パネル展」を企画することによって、今の若い人達にも、郷町を知ってもらおう。</p> <p>また、この企画によって、祖父・祖母から話しを聞いたり、地域住民との交流を図る。</p>												
<p>内容</p>	<p>〈「伊丹郷町再発見写真パネル展」「フリーマーケット」を開催〉</p> <p>「伊丹再発見」をテーマに大正・昭和初期の家並みや暮らしのパネルコーナー、祭り・イベントを中心に懐かしい写真パネル展示を行う。</p> <p>また、集客のためのフリーマーケットも同時に開催する。</p>												
<p>地域</p>	<p>伊丹市中央2丁目三軒寺プラザ・宮ノ前3丁目宮ノ前商店街 北中学校区 伊丹小学校区</p>												
<p>事業の効果</p>	<p>大正・昭和初期の写真は、お年寄りには懐かしく、子ども達には新鮮で、たくさんの人がパネルに話題の花を咲かせていた。</p> <p>パネル写真に撮られた往時の風物について、子ども達は大人に話を聞くことが多くなり、異世代交流や地域のコミュニティづくりに役立った。</p>												
<p>事業経過</p>	<table border="0"> <tr> <td>10月1日</td> <td>実行委員会設立</td> </tr> <tr> <td>6日</td> <td>写真の整理及び複写写真の整理</td> </tr> <tr> <td>13~14日</td> <td>ボランティア祭りでパネル展</td> </tr> <tr> <td>29日</td> <td>伊丹小学校校庭でパネル展開催</td> </tr> <tr> <td>11月17日</td> <td>パネル整理(あじさいセンター)</td> </tr> <tr> <td>23日</td> <td>伊丹郷町写真パネル展・フリーマーケット開催(三軒寺プラザ・その周辺)</td> </tr> </table>	10月1日	実行委員会設立	6日	写真の整理及び複写写真の整理	13~14日	ボランティア祭りでパネル展	29日	伊丹小学校校庭でパネル展開催	11月17日	パネル整理(あじさいセンター)	23日	伊丹郷町写真パネル展・フリーマーケット開催(三軒寺プラザ・その周辺)
10月1日	実行委員会設立												
6日	写真の整理及び複写写真の整理												
13~14日	ボランティア祭りでパネル展												
29日	伊丹小学校校庭でパネル展開催												
11月17日	パネル整理(あじさいセンター)												
23日	伊丹郷町写真パネル展・フリーマーケット開催(三軒寺プラザ・その周辺)												
													



連携	三軒寺フリーマーケット実行委員会、伊丹小地区社会福祉協議会、伊丹小ブロック自治会長会
成果物	〈フリーマーケット〉 〈写真パネル展〉
今後の展望	写真パネル展終了後も古い写真の提供があるなど好評であり、さらに地域の歴史や文化を勉強し、対象範囲を広域化するなどを含め写真パネル展の充実を図りたい。 今回の事業を通じて学んだ荒木村重、有岡城、酒の発祥地等の文化歴史を中心とした、物語集を作り、語り継いでいく。また、これらをシンボリックなランドマークとしてイラストマップの作製も計画之中である。

問合せ先	長浜 肇 伊丹市千僧 072-780-4345
------	-------------------------

コメント

「まち」を創り出す会が計画する数多くの事業の中で、「伊丹郷町写真パネル展」は重点事業であった。伊丹郷町「有岡城跡」の歴史や文化、教育、暮らしの古い写真をパネルにでき、伊丹郷町を再発見し伝承するための、多くの資料が発掘できました。

フリーマーケットで集客を図り、多くの人たちに紹介できました。また、この事業に賛同してくれた多くの団体やボランティアの人たちの積極的な支援によって、好評のうちに成功裏に終了しました。

〈あしたの伊丹の(まち)を創りだす会 今在家喜久夫〉

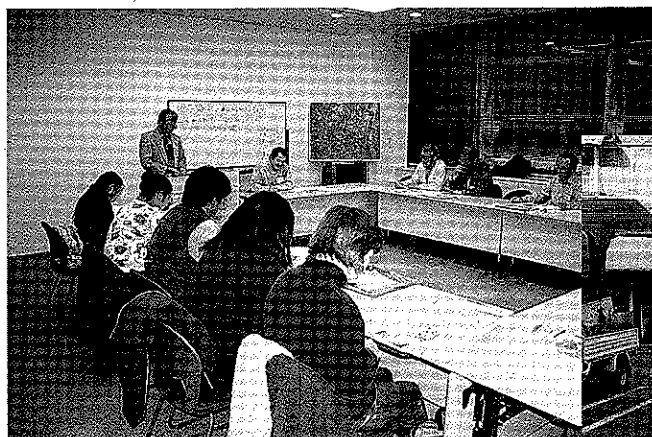
(30)伊丹郷町まちづくりガイドブック作成事業

●伊丹郷町商業会

●伊丹市中央 代表：午房 繁一

<p>目的</p>	<p>伊丹市の中心市街地活性化のために、伊丹郷町を素材にまちづくりの視点で「伊丹郷町まちづくりブック」をまとめる。 事業は、公開講座及び実習の形式とし、広く市民の参加を求め、市民・商業者の交流、コミュニティづくりを推進する。</p>
<p>内容</p>	<p>伊丹郷町まちづくりブック「ビタミンブック伊丹」の作成</p>
<p>地域</p>	<p>伊丹市中央、宮ノ前（旧伊丹郷町） 北中学校区</p>
<p>事業の効果</p>	<p>学ぶ・歩く・語るという形式の公開講座を通じて、参加者による編集作業を行い、お互いに顔の見えるつながりができた。 伊丹郷町まちづくりブックは、公開講座の記録や商業者の記録も含み、伊丹郷町に元気を与える内容となった。名前も「ITAMI」の文字を入れた「VITAMIN・BOOK」とした。 編集過程でネットワークが広がり、ビタミンブック編集委員会という編集組織の立ち上げにもなり、次の企画の話も出ている。</p> <div data-bbox="539 1146 1136 1960" data-label="Image"> <p>The image shows the cover of a book titled 'VITAMIN BOOK ITAMI'. At the top, the text reads 'まちに活気 きみに元気' (Vitality in town, vitality in you). Below this, the title 'VITAMIN BOOK ITAMI' is written in large, bold, black letters. The central part of the cover features a collage of various fruits including apples, oranges, and grapes, along with a white bottle of 'VITAMIN BOOK' supplements and several small white pills. At the bottom of the cover, it says '2003 ビタミンブック編集委員会' (2003 Vitamin Book Editorial Committee).</p> </div>

事業経過	8月2日	準備会による自由討議
	8月23日	編集委員会立ち上げ
	10月31日	第1回公開講座（江戸時代、まちの歴史と文化）
	11月7日	第2回公開講座（戦前戦後～現代のまちづくり）
	16日	第3回公開講座（伊丹郷町の今日を感じる）
	21日	第4回公開講座（伊丹郷町の明日を考える）
	28日	編集委員会
連携	〈伊丹まちづくり会議〉	



成果物	〈伊丹郷町まちづくりブック「ビタミンブック伊丹」〉
今後の展望	<p>今回の取り組みを通じて、明日につながる企画アイデアが出てきている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 お店と店主のセットでミニタウン誌が作れないか 2 日本酒の代名詞であった頃の旧地名「湊町」の復活 3 故桂枝雀にちなんだまちづくり 4 加藤登紀子のほろ酔いコンサートの誘致

問合せ先	荒木 宏之 伊丹市中央 072-772-2916
------	--------------------------

コトワザ

平成14年度「まちの再発見運動」の補助を得て、「VITAMIN BOOK ITAMI」という156ページの図書をまとめた。

伊丹郷町を題材にした講座を開き、受講者から書き手を募り編集した。

内容のあるものにするため、歴史書の精読や関連資料の収集も行ったが、編集期間が4ヶ月足らずであり、郷町の全体像を表現し得ていない。調査・執筆・編集・印刷の工程を考えると、1年間は必要だろう。

〈伊丹まちづくり会議 荒木 宏之〉

(31)リバーサイド・フェスタ

●リバーサイド・フェスタ実行委員

●伊丹市中野西 代表：山並 正久

目的	<p>阪神・淡路大震災の被災者に対する自治会救援活動は、日頃の親睦の成果であった。そのことを、次世代に語り継ぐため、震災被害の改修により親水性豊かな河川となった天神川、天王寺川でイベントを開催する。</p>	
内容	<p>〈リバーサイド・フェスタ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地での講師による、地震の発生の仕組みや現地の分析をする。 ・ 改修された河川で、魚の捕獲競争をし、生態などの学習をする。 ・ 親子で船を作って、競争する。 ・ リバーサイド・フェスタの実施までの記録について冊子を作成する。 <p>〈環境マップ〉作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川の役割や植物・生物の生態をパネルにする。 ・ 水質の浄化や甦る生物などもパネルにする。 	
地域	<p>伊丹市中野西 天王寺川中学校区 桜台小学校区</p>	
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントでは親子そろって船を作り、親子の交流の場として役割を果たせた。 ・ リバーサイド・フェスタを中心とした地域の活性化の推進について、伊丹市の議会でも取り上げられ、伊丹市も何らかの支援を求める要望が出されるなど、今後の市の支援が期待できる。また、継続もできる環境が整いつつある。 ・ 今後、地域全体として事業の展開を図り、地域の特徴あるまちづくりの一貫として地域の活性化を図る。 	
事業経過	<p>4月 8月10日 20日 28日 9月15日 21日 10月2日 10日 15日 19日 20日 1月</p>	<p>天王寺・天神川の水生生物・水生植物の実態調査（市立昆虫館） 天王寺・天神川の生態系の調査 環境マップの作成 PTA・小学校の先生の参加を求める 小学校に参加協力要請 伊丹市広報・掲載の取材 「リバーサイド・フェスタ」の実施計画検討 スタッフ割り振り 設営備品の点検 冊子編集会議 スタッフの配置・進行の確認 冊子編集会議 〈リバーサイド・フェスタ〉本番 冊子編集会議</p>


(32)仁川夏祭り

●仁川北自治会

●宝塚市仁川北 代表：小泉 五郎

目的	<p>地域の伝統的自然・歴史・文化を保存、継承するとともに、新しい歴史・文化の発見と創造の運動を推進する。</p> <p>異世代交流の場としての「夏祭り」を中心行事に、地域の連携を図りボランティア組織の構築を促進させる。</p>
内容	<p>〈弁天池を美しくする運動〉 プールに放した鯉を池に戻すため「コイのつかみ取り」を行う。また、月1～2回の定期的な除草・清掃活動を行う。</p> <p>〈仁川夏祭り〉 ボランティアの支援によるイベントとし、また、歴史写真展も開催する。</p> <p>〈花と緑のフェスティバル〉 市内産地の花と野菜の直売やゲームを通じての地域交流を図る。</p>
地域	<p>宝塚市仁川北町他8町 宝塚第一中学校</p>
事業の効果	<p>〈弁天池を美しくする運動（弁天池）〉 今回の事業をきっかけに、定期的（月1～2回）な弁天池周辺の除草・清掃活動が定着した。</p> <p>〈仁川夏祭り（阪神競馬場・第一駐車場特設会場）〉 260名のボランティアの支援により、2日間で延8,000人の老若男女が集まった。 また、開催日前後の準備片付け等の協働作業が団体間の連携を強化し、ボランティア相互の理解が深まり、組織が活性化された。 歴史写真パネルでは、子ども達に地域の自然・歴史を考える教材となり、感動を与えた。</p> <p>〈花と緑のフェスティバル（宝塚市立仁川小学校）〉 産地（宝塚市西谷）直売の花と野菜を低価で販売するコーナーやゲームを通じて、その地域との交流が図れた。</p>



事業経過	6月15日	「仁川夏祭り」実施の決定、組織・予算案の検討
	20日	「仁川夏祭り」実行委員及び実行委員会組織の決定
	21日	弁天池 水面の「ヒシ取り」(以降、月1～2回実施)
	29日	「仁川夏祭り」模擬内容・予算の検討
	7月13日	「仁川夏祭り」ボランティア募集報告の検討
	16～25日	「仁川夏祭り」パネル展示写真の収集・焼付
	8月6～7日	「仁川夏祭り」実施
	21日	「花と緑のフェスティバル」開催決定と計画の策定
	28日	「花と緑のフェスティバル」規模・内容と組織
	9月16日	弁天池 池周辺の除草・水面のごみ収集
	24日	「花と緑のフェスティバル」規模・内容の詳細を検討決定
	10月19日	「花と緑のフェスティバル」実施
連携	宝塚市鹿塩自治会、宝塚市仁川コミュニティ	
成果物	<仁川夏祭り> <歴史写真展パネル> <花と緑のフェスティバル> <弁天池を美しくする運動>	
今後の展望	<p>弁天池を美しくする運動では、毎月定期的に行う池の除草・清掃活動への参加者が増加したため、今後は池以外の自然環境保護の運動へと発展させたい。</p> <p>仁川夏まつりを通して、協力いただいたボランティアにより、地域住民の相互理解と団体の連携が図られ、次回以降の開催に際しても、同様の取組みを行うとともに、歴史パネル展示の充実も図りたい。</p> <p>花と緑のフェスティバルでは、地域の年間行事として定着しつつある。他地域との交流を拡大促進するにあたり、産地直売の花と野菜及びその他の多品化を図っている。</p>	
		

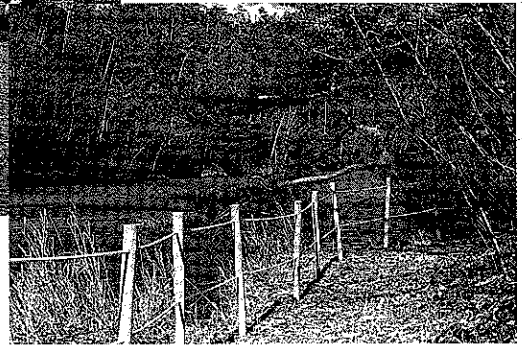
問合せ先	小泉 五郎 宝塚市仁川北 0798-53-3514
------	---------------------------

(33)山行き道づくりと広場の植樹

●西谷地区まちづくり協議会

●宝塚市大原野 代表：辻 博見

<p>目 的</p>	<p>お年寄りから子どもたちまで皆で集まり、昔ながらの山行き道を歩いて、下草刈りなどを行って整備し、その中で、地域の木や花、風景などを再発見する。 また、山行き道の登り口にある空き地に山桜、もみじなどを植樹し、花見や紅葉狩りなど、皆が集い、語らいの場として利用できる広場にする。 このような住民の協働作業を通じて、地域全体のコミュニティづくりを行う。</p>														
<p>内 容</p>	<p>今は荒れきっている山道を、地域のお年寄りから子どもまでが歩き、草刈などを行い整備する。また、山道入口にある、空き地に山桜やもみじなどを植樹する。</p>														
<p>地 域</p>	<p>宝塚市大原野、境野 西谷中学校区</p>														
<p>事 業 の 効 果</p>	<p>山行き道づくりを進めていく中で、お年寄りから子どもに桃の節句などの昔の行事が伝わり、木杭の打ち方なども学び、また、水やりにはバケツリレーを行うなど、地域が一体となって取り組み、コミュニティの活性化が図られた。 これからも今回植えた木の管理や広場などの使い方のルールづくり、さらに道の整備、植樹なども、引き続き進めていくこととなった。</p>														
<p>事 業 経 過</p>	<table border="0"> <tr> <td data-bbox="284 1160 427 1189">10月6日</td> <td data-bbox="472 1160 767 1189">現地調査と作業内容検討</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1205 427 1234">20日</td> <td data-bbox="472 1205 1198 1234">道づくり、植樹の日程、作業内容、木の種類や本数等の検討</td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1249 427 1279">11月8日</td> <td data-bbox="472 1249 1374 1317">事業実施の中心となる（環境部会「西谷・夢・源・塾」^{にしだにむげんじゅく}）発足承認と「山行き道づくりと広場の植樹」計画案説明と承認</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1332 427 1361">13日</td> <td data-bbox="472 1332 823 1361">スタッフ募集ちらし新聞折込</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1377 427 1406">23日</td> <td data-bbox="472 1377 1398 1444">「山行き道づくり」実施草刈班、倒木処理班、丸太橋・看板設置班に分かれ、作業を実施</td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1460 427 1489">12月6日</td> <td data-bbox="472 1460 823 1489">参加者募集ちらし新聞折込み</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1505 427 1534">15日</td> <td data-bbox="472 1505 983 1534">「山行き道ハイキングと広場の植樹」実施</td> </tr> </table> <div data-bbox="472 1585 1134 2040" style="text-align: center;"> </div>	10月6日	現地調査と作業内容検討	20日	道づくり、植樹の日程、作業内容、木の種類や本数等の検討	11月8日	事業実施の中心となる（環境部会「西谷・夢・源・塾」 ^{にしだにむげんじゅく} ）発足承認と「山行き道づくりと広場の植樹」計画案説明と承認	13日	スタッフ募集ちらし新聞折込	23日	「山行き道づくり」実施草刈班、倒木処理班、丸太橋・看板設置班に分かれ、作業を実施	12月6日	参加者募集ちらし新聞折込み	15日	「山行き道ハイキングと広場の植樹」実施
10月6日	現地調査と作業内容検討														
20日	道づくり、植樹の日程、作業内容、木の種類や本数等の検討														
11月8日	事業実施の中心となる（環境部会「西谷・夢・源・塾」 ^{にしだにむげんじゅく} ）発足承認と「山行き道づくりと広場の植樹」計画案説明と承認														
13日	スタッフ募集ちらし新聞折込														
23日	「山行き道づくり」実施草刈班、倒木処理班、丸太橋・看板設置班に分かれ、作業を実施														
12月6日	参加者募集ちらし新聞折込み														
15日	「山行き道ハイキングと広場の植樹」実施														



連携	宝塚市西谷地区自治会連合会
成果物	<p>〈山行き道づくり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 山行き道 約1.8kmの下草刈りや倒木処理などの整備 丸太橋1ヶ所（長さ3m 幅1.5m） 木柵約20m 設置 <p>〈広場の植樹〉</p> <ul style="list-style-type: none"> コヒガンザクラ 35本 ヤマザクラ 3本 サザンカ 11本
今後の展望	<p>地域を包んでいる山林全体が荒れてきているので、今後は今回の取組みを広げ、地域全体の山を明るくたくさんの生物が多く棲み、人も利用できるような里山づくりに発展させていきたい。</p> <p>また、今回の取組みで山とのかかわりの風習や山仕事のことをよく知っている方が地域にいることがわかってきたので、このような人に炭焼きや木工などを教えていただきながら勉強会を開き、子どもたちに伝えていくような企画も考えたい。</p>

問合せ先	嶋田 広美 宝塚市大原野字南宮 0797-91-0001
------	------------------------------

コメント

「西谷・夢・減・塾」(環境部会)の最初の取組みは「山行き道づくり」でした。人の行き来もなく、草が生い茂り倒木でふさがれていた昔の生活の道は、地域の人たちの協力で「山行き道」として蘇りました。コース入り口の広場に約50本の植樹も行いました。


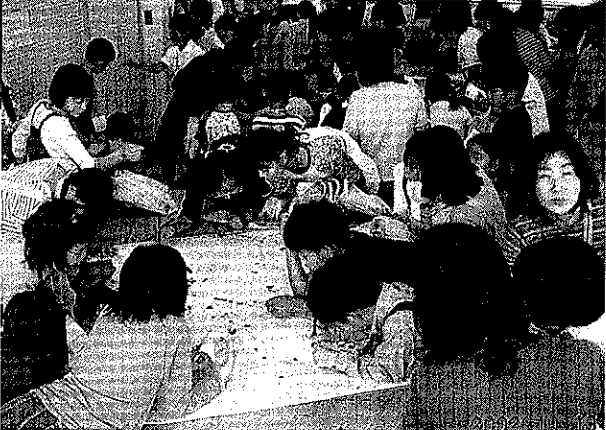
豊かな自然の恵みとそこに住む人々の思いを生かしながらの地域づくり。それぞれの立場でできることを持ち寄りながら、西谷の夢づくりがスタートします。

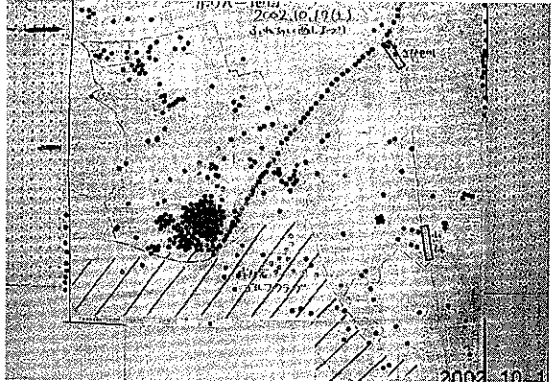
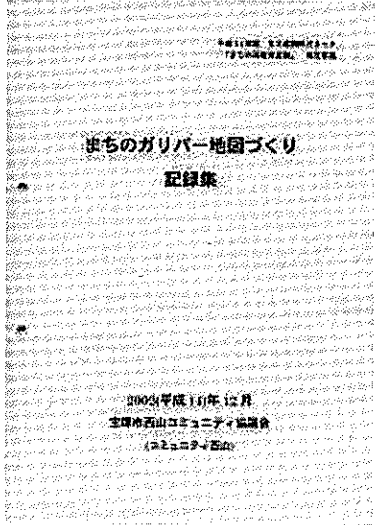
〈西谷地区まちづくり協議会 岸 恭子〉

(34) まちのガリバー地図づくり

●宝塚市西山コミュニティ協議会

●宝塚市野上 代表：大崎 裕子

<p>目的</p>	<p>高齢者の多い住宅地であり、住民同志の関係も希薄であることから、イベントの機会を活用して、高齢者や子どもが共にまちに気付く取組みをして、ガリバー地図作りを行い、まちの計画づくりの一助とするとともに、地域の活性化につなげる。</p>
<p>内容</p>	<p>コミュニティ西山区域（西山小学校区）の住民を対象に「まちのすてき（素敵）」「まちのなんぎ（難儀）」を質問、その結果を畳3畳分の大きな地図上に、青（まちのすきなところ）、赤（まちのきらいなところ）の色シールを貼って、その場所名とすき・きらいの理由を表示する。あわせて、「校区歩こう会」で、その結果を検証してまとめる。 これをもとに、各自治会などと共同で確認作業を行い、まちの課題についての共通認識を持つ。</p>
<p>地域</p>	<p>宝塚市 光が丘、宝梅中学校区 コミュニティ西山区域</p>
<p>事業の効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域組織の活性化…これまで小学校としか関わりのなかった児童の保護者に、コミュニティ活動の一端を示すことができた。 ・ コミュニティ西山の委員には、補導委員・老人会のメンバーなどもおり、子ども達と親しく話せる機会のはじめの一步を踏み出せた。 ・ 「校区歩こう会」でも、広く広報誌を通じて参加を呼びかけることで、新しく転入して来られた方にも参加していただけることができ、人の輪を広げることができた。 ・ 地域内のあんなとこ、こんなとこがあるなど、1人でも多くの人に関心をもって、自分達で自分達のまちづくりをすることの楽しさを、感じてもらうことができた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div>

事業経過	7月20日	第一回 校区歩こう会として地域を歩いた	
	9月7日	ガリバー地図つくりと歩こう会 準備打ち合わせ	
	18日	ガリバー地図つくりと歩こう会 準備打ち合わせ	
	10月9日	ガリバー地図つくり確認	
	18日	ガリバー地図準備	
	19日	ガリバー地図作り実施	
	20日	第二回 校区歩こう会	
	10～11月	とりまとめ作業	
	12月26日	最終提出資料確認・修正	
			
成果物	〈まちのガリバー地図づくり記録集〉100部 〈校区歩こう会〉 〈ふれあい西山まつりにてガリバー地図つくり〉		
今後の展望	今回の成果、宝塚市が進める「地域ごとのまちづくり計画」にも反映させ、日常の住みよい暮らし（まちづくり）そして、ずっと住みたいまちのために役立てていきたい。 そのためには、「福祉活動」「防犯・防止活動」「環境を守る活動」の展開を考えていかなくてはならない。		

問合せ先 久保田 洋一 宝塚市野上 0797-74-6958

コメント

今回のガリバー地図づくりでは、回答者の性別や年齢別の集計も行ない、コミュニティ西山を構成する自治会や補導委員、老人会、人権推進委員、学校、PTAの方々に対して、集計結果をお知らせすることができました。3月には「わいわいフェスティバル」というお祭りでも発表しました。まちの現状を知る取組みとしてはまだまだ不十分ですが、宝塚市が進める「地域ごとのまちづくり計画」にも反映することができそうです。

〈宝塚市西山コミュニティ協議会 久保田 洋一〉

(35) クリーン白瀬川・裏山の健康づくり散策路の整備活動

● ゆずり葉コミュニティ

● 宝塚市逆瀬台 代表：中村 一雄

目的	身近な場所に四季の移り変わりの緑と花があり、高齢者が無理をせずに、また家族揃ってできる「身近にある健康づくりの散策路」があればと思う。散策路の整備により、地域の緑化と花作りの環境改善を図る。	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域内にある森の散策路（800m）の整備活動への参加をよびかける。 ・ 森の散策路へのアプローチ（200m）に四季折々の「緑と花づくり」を行う。 ・ コース中に、マップ看板（一箇所）・標識（三箇所）をつくる。 	
地域	宝塚市逆瀬台1丁目 光ガ丘中学校区	
事業の効果	<p>散策路づくりの座談会や広報紙により、整備活動への参加が促進され、整備後は、年中森林浴が出来るようになり、健康づくりの場づくりができた。また、花の手入れを通じてコミュニティが広がるとともに、夏はひまわり・秋はコスモスと四季の花が咲き、地域住民の毎日の散策コースとなった。コースに案内板・ポール・道標をすることによって安心感が生まれ、コミュニティの活性化が図られた。</p> <p>小学校では、総合学習として白瀬川について5つのテーマをつくり、「白瀬川博物館」と銘打って、展示とミニフォーラムを行い、子ども達に地域の自然についての意識が高まった。</p>	
事業経過	<p>5月3日 12日 6月16日 7月27日 9月12~26日 10月14~16日 10月19日~11月10日 10月26日 12月1日 毎日</p>	<p>草取り・肥料やり 川のクリーンハイキング ヒマワリの苗170本を移植 散策ハイキング 手作り道標・高齢者作業用椅子作製 案内板・ポール・道標作成 散策路の急斜面のロープ張り・散策ハイキング 小学校で「白瀬川博物館」「ミニフォーラム」開催 植樹祭 桜など120本を植樹 水まき、草刈、間伐</p>



成果物	<p>〈散策路の案内板〉(1カ所)</p> <p>〈ポール〉(1カ所)</p> <p>〈路標〉(ウッディコンクリート製2カ所と、手作り木製10カ所)</p> <p>〈急斜面のロープ張り〉(6ヶ所)</p> <p>〈チラシ〉500枚×8種類</p> <p>〈広報紙「ゆずり葉だより」〉4,400部×3 (夏・秋・新春)</p> <p>〈ホームページ〉</p>
今後の展望	<p>森の散策路整備活動、環境の改善活動、緑化と花づくりの保全と創出、そして川と森の再生プランに向け、21世紀の健康で元気なコミュニティづくりの目標として活動を展開していきたい。</p>

問合せ先	<p>中村 一雄 宝塚市逆瀬台 0797-72-5644</p>
------	----------------------------------

コメント

小学生の総合学習として、川の調査と地域との交流、そのまとめとして小学生による展示会とミニフォーラムを開催できました。そして散策路づくりとして案内板、道標を設置したことにより、住民は地域資源の活用に注目し、一変して「みんなの散策路」として整備することができました。ホームページへ感謝の言葉が寄せられるなど、住民みんなから評価されています。

〈ゆずり葉コミュニティ 中村 一雄〉

(36)かわにしっ子まつり

●川西市子ども会連絡協議会

●川西市火打 代表：岩井 裕子

<p>目 的</p>	<p>子どもの手による子ども会を目指し、「遊びの楽しさ」「自分達の住む川西市の歴史」を再発見します。</p> <p>お祭りを企画、準備していく中で子どもたちは連帯感や責任感を感じると思います。当日は子どもたち自身で、作り上げたお祭りで体を動かす喜び、自分の手でおもちゃを作ることの楽しさを感じ、他校・異年齢の友達の輪が広がることとと思います。</p> <p>また、自分達の住む川西市の歴史を知ること、愛着を感じ、川西市を愛し、その自然を守っていかうとする気持ちが芽生えていくこととと思います。</p>												
<p>内 容</p>	<p>川西市中央ゲートボール場にて子どもの手による、まちをあげての祭り「かわにしっ子まつり」を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「川西の謎・伝説」マップとパネル ・ 三世代ゲートボール大会 ・ 川西〇×クイズ大会 など 												
<p>地域</p>	<p>川西市</p>												
<p>事業の 効果</p>	<p>地域の方々へ参画と協力を呼びかけ、地域の大人たちと子どもの交流が深まり、異世代のコミュニティの活性化に繋がった。</p>												
<p>事業 経過</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="284 1205 443 1249">9月10日</td> <td data-bbox="443 1205 1402 1249">事業方針・構想・討議</td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1249 443 1294">18日</td> <td data-bbox="443 1249 1402 1294">子どもスタッフ募集についての検討</td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1294 443 1339">10月19日</td> <td data-bbox="443 1294 1402 1339">子どもスタッフ会議</td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1339 443 1384">26日</td> <td data-bbox="443 1339 1402 1384">子どもスタッフ会議</td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1384 443 1429">11月1日</td> <td data-bbox="443 1384 1402 1429">かわにしっ子まつり準備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1429 443 1473">2日</td> <td data-bbox="443 1429 1402 1473">かわにしっ子まつり</td> </tr> </table>	9月10日	事業方針・構想・討議	18日	子どもスタッフ募集についての検討	10月19日	子どもスタッフ会議	26日	子どもスタッフ会議	11月1日	かわにしっ子まつり準備	2日	かわにしっ子まつり
9月10日	事業方針・構想・討議												
18日	子どもスタッフ募集についての検討												
10月19日	子どもスタッフ会議												
26日	子どもスタッフ会議												
11月1日	かわにしっ子まつり準備												
2日	かわにしっ子まつり												
<p>成 果 物</p>	<p>〈「川西の謎・伝説」マップ・パネル〉</p> <p>川西の謎（九頭龍伝説、美女丸・幸寿丸、病気を治す石、達龍伝説、西行法師と鼓滝）を子どもスタッフが図書館・市ホームページ等から調べ、「川西市の地図におとしたもの」と「それぞれの謎についてまとめたパネル」を「かわにしっ子祭り」で子ども達が発表した。</p>												



今後の展望

今回の祭りでは、地域のコミュニティの活性化につながったので、次回からも地域の方々の参画や異世代交流を継続し、住民の方の意見を反映させ、より充実した活動にしたいと思っている。

「川西の謎・伝説」「〇×クイズ」も、学校では教えてくれない川西市の再発見となったので、これからは少し趣向を変えて、ハイキングや遠足などで川西市を再発見できるプログラムを組んで行きたいと思っている。

問合せ先

十河 眞由美 川西市萩原台 072-759-7784

コメント

「九頭龍伝説、知ってる？」誇らしげに話す子どもたち。「ゲートボール、教えて！」とはしゃぐ子どもたちに囲まれて笑顔のおじいちゃん。地域での人間関係の希薄さが、心配されていますが、人や町を愛する心・町を活性化していく力は、「人と人のつながり」・「人と自然とのつながり」によって生まれることを実感しました。

今後も暮らしの智恵・遊び・文化を伝えていけるような異世代の交流を持ち続け、子どもたちの心豊かな成長を見守りたいと思います。

〈川西市子ども会連絡協議会 十河 眞由美〉

(37)多田文化祭(わがまちを再発見しよう)

●多田小学校区コミュニティ推進協議会


●川西市多田院 代表：梶田 忠勝

目的	<p>多田地区は開発が進み、新住民が多くなり、多田の歴史や成り立ちなどを知らない人が多くなってきた。</p> <p>そこで、「多田文化祭」は、地域の伝統や歴史も絡ませて、我がまちの自慢を見つけ出してもらい、新住民にも郷土愛を育ててもらうことを目的とする。</p>	
内容	<p>〈多田文化祭〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演（多田神社の歴史） ・ 作品展（わがまち再発見写真等） ・ 人材発掘（地元出身で全国的に活躍しているかたの紹介） ・ ヤングコンサート（地元高校出演） ・ 報道展（伝統のまつりや行事の紹介） ・ 演奏会とカラオケ大会（川西音頭・地元出身オペラ歌手等） 	
地域	川西市多田院 多田小学校区(川西市矢間・新田・西多田・西多田団地・多田院 5自治会)	
事業の効果	<p>「この地域のことは、あの人に聞けばわかる」というキーマンが現れ、この事業を実行したことにより、地元の人のもとより外部から来た方の反響があり、多田地区が第二のふるさととなり得た。</p> <p>また、祭りをとおして子どもの協力もあり「異世代交流・コミュニティの活性化」もできた。</p>	
事業経過	8月	実行委員会設立
	9月	実行委員会・コミュニティ専門部会開催
	10月	看板制作・舞台設備の準備
	11月1日	会場設営
	11月2～3日	〈多田文化祭〉
連携	多田公民館・多田菊友会	

(38) 伝承文化ガイド標識づくり事業

● 東浦町老人クラブ連合会

● 津名郡東浦町久留麻 代表：小林 一郎

<p>目的</p>	<p>町内に埋もれた名所旧跡のガイド標識（案内板）を作ることによって、名所旧跡のよみがえりを図り、少しでも多くの住民に町を深く理解し、愛するところを養ってもらうのが目的である。</p> <p>ガイド標識によって、今まで知られなかった道もハイキングコースとなったり、子ども達とのウォーキングコースになったりすることが望ましい。</p>																		
<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以前つくった伝承誌「むかしばなしひがしうら」の中から、町内に古くから伝わる民話や史話などにまつわる遺跡を選び、その「案内板」をつくる。 ・ 「案内板」を小学・中学生たちと一緒に設立することにより、世代交流を図る。 																		
<p>地域</p>	<p>津名郡東浦町 東浦中学校校区内</p>																		
<p>事業の効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の企画・計画を検討する委員会も回数を重ねるうちに熱が入り、今まで行ったこともない社、神社、祠などを何回となく調査していくうちに、ふるさとの昔ばなしに徐々に興味がわき、委員会を心待ちにするようになった。 ・ これまでまったく交流のなかった人達も、相互理解を深めることができた。 ・ 異世代の子供たちと一緒に活動を重ねるにつれて、会話も弾みコミュニケーションが図れ、よりよい人間関係が築けた。 																		
<p>事業経過</p>	<table border="1"> <tr> <td>10月15日</td> <td>委員決定</td> </tr> <tr> <td>17日</td> <td>各種団体等の委員会参画依頼</td> </tr> <tr> <td>11月1日</td> <td>グループづくり</td> </tr> <tr> <td>5~25日</td> <td>現地確認、案内板の図案作成、注文</td> </tr> <tr> <td>12月2日</td> <td>現地探索</td> </tr> <tr> <td>15日</td> <td>設置場所にて、話し合い（釜口地区）</td> </tr> <tr> <td>21日</td> <td>設置場所にて、話し合い（仮屋地区）</td> </tr> <tr> <td>25日</td> <td>「案内板」設置</td> </tr> <tr> <td>1月10日</td> <td>反省会</td> </tr> </table> <div data-bbox="687 1637 1385 2047" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">野田の薬師堂</p> <p>御祭神 花崗岩の巨大な自然石が御本尊で、その高さ2m、幅2.5m、厚さ0.5~1.0m、重さは1.5tと推定される。</p> <p>所在地 野田</p> <p>由来 創建の年月は定かではないが、昭和8年に建て替えられている。子育ての仏様として祀られている。</p> <p style="text-align: right;">平成14年12月吉日 東浦町老人クラブ連合会</p>  </div>	10月15日	委員決定	17日	各種団体等の委員会参画依頼	11月1日	グループづくり	5~25日	現地確認、案内板の図案作成、注文	12月2日	現地探索	15日	設置場所にて、話し合い（釜口地区）	21日	設置場所にて、話し合い（仮屋地区）	25日	「案内板」設置	1月10日	反省会
10月15日	委員決定																		
17日	各種団体等の委員会参画依頼																		
11月1日	グループづくり																		
5~25日	現地確認、案内板の図案作成、注文																		
12月2日	現地探索																		
15日	設置場所にて、話し合い（釜口地区）																		
21日	設置場所にて、話し合い（仮屋地区）																		
25日	「案内板」設置																		
1月10日	反省会																		



成果物	<p>〈「津田北向きのおじぞうさん」案内板〉</p> <p>〈「平家供養塔」案内板〉 〈「元浦の社日」案内板〉</p> <p>〈「白山神社」案内板〉 〈「広峰神社」案内板〉</p> <p>〈「八坂神社」案内板〉 〈「野田の薬師堂」案内板〉</p>
今後の展望	<p>今回は、7箇所を取り上げて「案内板」を作ったが、今後は他の名所にも「案内板」を作っていく。</p> <p>「案内板」を目的地として「みんなであるこう会」を開催し、各校区ごとの小学生と交流を図ってもらうようにする。</p>

問合せ先	今谷 すが子 津名郡東浦町久留麻 0799-74-4030
------	------------------------------------

コトワザ

東浦町老人クラブ連合会では、重点施策のひとつとして伝承誌「むかしばなしひがしうら」の正・続編の発刊など伝承活動に取り組んでいる。これは、時代の推移と世相の変遷により、埋もれんとする古き良き伝承文化財を長く後世に伝えんとするもので、今回は「まちの再発見運動」として案内板の設置事業を行った。

今回の案内板設置により町の文化遺産が広く知られるところとなり、積極的に活用されることが望まれる。

〈東浦町老人クラブ連合会 今谷 すが子〉

(39)ふるさとと歴史文化推進事業

●一宮21創造協会

●津名郡一宮町郡家 代表：谷 忠美

目 的	<p>一宮町地域社会の総合的な文化の発展等を図るため、消えかかっているふるさとの歴史文化の復活伝承と新たな未利用資源の発掘により、生誕ふるさとに誇りと生きがいを感じ、生まれて良かった、住んでよかったといえる地域の魅力を創出していく。</p>
内 容	<p>〈「社日太鼓」・「やっちょまか音頭」おこし〉 40年前の音頭が今ここに伝承されずにいると、永久に日の目をみることができないという危機感があり、その資料の収集と伝統芸能の練習を行う。</p> <p>〈一宮の民謡の編曲と民踊おこし〉 旧町村時代、昭和の初期から現在にかけて民謡が次々に生み出されてきたが、だんだんと消えつつあり、これを復活伝承する。</p> <p>〈「ふるさと一宮シリーズ」ガイドブックと香木伝来伝承絵本の小冊子作成〉 一宮町の歴史資料を中心にガイドも含めて作成する。</p>
地 域	<p>津名郡一宮町 一宮中学校区</p>
事 業 の 効 果	<p>保存会メンバーには女性が多いのも特徴で、練習の雰囲気もよく、コミュニティづくりがはかられた。</p> <p>保存会活動の影響もあって、多賀地域では「いざなぎ経営塾」が2月に設立された。「やっちょまか音頭」の輪も他地域へ広がっていく気配である。</p> <p>これを契機にコミュニティづくりが新たな再生へと繋がるであろう。</p> <p>ガイドブックや小冊子は、総合学習の教材としても採用され、次世代への文化の継承が図られた。</p> <p>小絵本は兵庫県線香協同組合にも配布し、業界にも喜ばれた。</p>



事業経過	9月8日	資料の収集作業（執筆等依頼）
	22日	やっちょまか音頭練習（唄・三味線・踊り・太鼓）
	10月13日	やっちょまか音頭練習（唄・三味線・踊り・太鼓）
	11月3日	「文化の祭典」へ特別出演
	27日	練習会
	10～12月	校正・編集作業ボランティア作業、練習会
	1月19日	最終校正印刷依頼
	20日	製本作業
	2月7日	製本作業
連携	郡家地区伝統芸能保存会、一宮町公民館郡家分館	



成果物	<p>〈CD作成〉…「江井小唄」「多賀音頭」「尾崎小唄」「郡家小唄」</p> <p>〈枯木神社の神様小絵本〉…500部</p> <p>〈ふるさと一宮ガイドブック〉…500部</p> <p>〈ビデオ・歌詞保存〉…「やっちょまか音頭」</p>
今後の展望	<p>枯木神社の夏祭りに「潮浴び祭り」を復活すべく、神社総代をはじめ関係者と協議して、この夏の神社のイベントとして、継続していきたい。</p> <p>一宮の歴史について知っていただく貴重な資料として、「ふるさと一宮ガイドブック」の第二弾に取組みたいと考えている。</p>

問合せ先	山口 卓治 津名郡一宮町郡家 0799-85-0509
------	-----------------------------

コメント

平成14年4月に設立した一宮21創造協会にとって、まちの再発見運動は、タイミングのよい事業となったと思う。

「ふるさと歴史文化推進事業」を取り上げることによって住民の郷土歴史、文化を愛する意識高揚の動機づけに貢献できたのではないかと考えています。執筆いただいた先生方や関係機関の協力を感謝しています。


ただ、多面的にあれもこれも欲張った関係で印刷物の数が多くなり、予算超過するなど厳しい決算になりました。

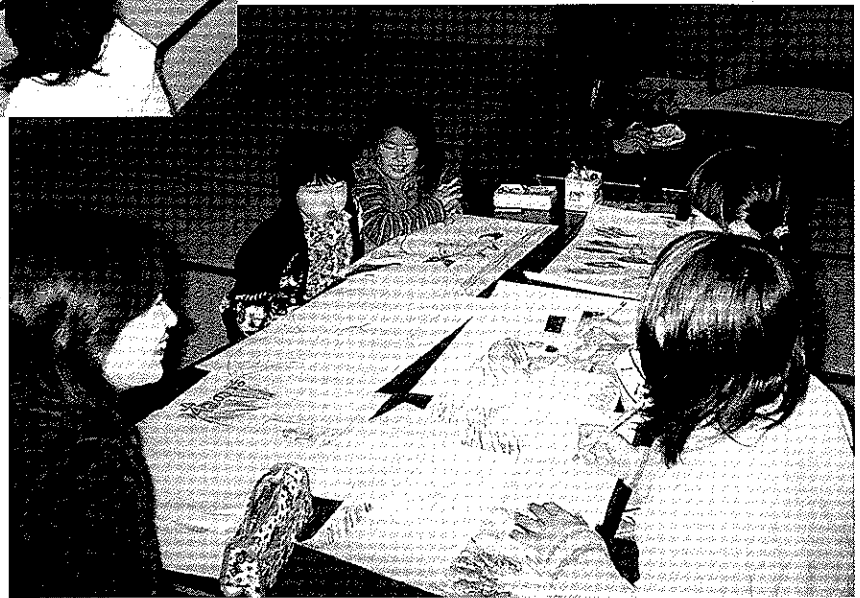
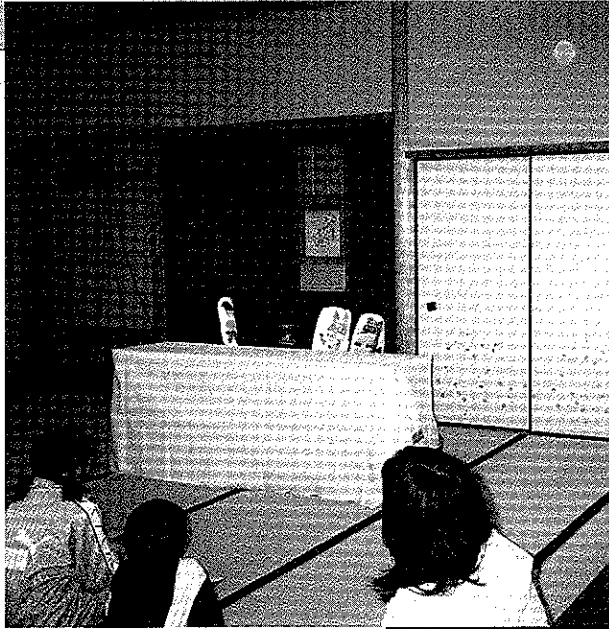
〈一宮21創造協会 山口 卓治〉

(40) 淡路の昔ばなし紙芝居を作る会

● 淡路おやこネットワーク

● 洲本市宇原 代表：尾花恵美子

目的	淡路には昔から伝わる多くの話があり、それぞれの地域や各家庭に伝わる話を探し、学び、次世代に伝える。												
内容	昔話の紙芝居作成												
地域	津名郡一宮町 一宮中学校区												
事業の効果	<p>子ども達が、家庭や地域の大人、お年寄りから昔話を聞く作業を通じて、異世代交流が図られ、郷土への関心も深まった。</p> <p>また、同じ目的で集まることにより、子ども達や参加者の仲間づくりができた。</p> <p>事業を進めていく過程で、当初連携を予定していなかった地域団体との交流が広がり、事業に参画してもらえた。</p> 												
事業経過	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="284 1715 421 1749">9月25日</td> <td data-bbox="467 1715 660 1749">基本構想の検討</td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1760 421 1794">10月22日</td> <td data-bbox="467 1760 874 1794">企画説明、内容検討、チラシ検討</td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1805 421 1839">11月5日</td> <td data-bbox="467 1805 740 1839">チラシ作成、内容検討</td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1850 421 1883">12月10日</td> <td data-bbox="467 1850 580 1883">編集作業</td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1895 421 1928">2月1日</td> <td data-bbox="467 1895 794 1928">「昔話の会」紙芝居等作成</td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1939 421 1973">2月15日</td> <td data-bbox="467 1939 927 1973">「昔話の会」紙芝居等の発表と反省会</td> </tr> </table>	9月25日	基本構想の検討	10月22日	企画説明、内容検討、チラシ検討	11月5日	チラシ作成、内容検討	12月10日	編集作業	2月1日	「昔話の会」紙芝居等作成	2月15日	「昔話の会」紙芝居等の発表と反省会
9月25日	基本構想の検討												
10月22日	企画説明、内容検討、チラシ検討												
11月5日	チラシ作成、内容検討												
12月10日	編集作業												
2月1日	「昔話の会」紙芝居等作成												
2月15日	「昔話の会」紙芝居等の発表と反省会												
連携	一宮町下河合婦人会、多賀こども会												



成果物	〈紙芝居〉〈ペープサート〉〈巻物〉
今後の展望	<p>作成した紙芝居やペープサート等はずっと残るので、これからも多くの昔話を紙芝居や人形劇として復活させ、それらを冊子にしてまとめて伝えたい。</p> <p>新しい地域の人とも交流して、違う地域の昔話を掘り起こし広がりを持たせていきたい。</p>

問合せ先	登日 嘉子 津名郡津名町佐野 0799-64-2006
------	-----------------------------

コメント

自分たちの住んでいる所の良さというものは、親の私たちでさえ、わからないのではないのでしょうか。この事業をやってきて、私たちも勉強ができ、大変良かったと思えました。地域も学校も違っている子どもたちが、日と時間を決めて集まるということだけでも大変でした。でもそういう中で「こんどいつ？」と聞いてくれる子どもたちの声がとても励みになりました。協力して下さった皆様に、ほんとうに心から感謝いたします。

〈淡路おやこネットワーク 今若 千代美〉

(41) 伝統芸能のほりおこし

● 寺内祇園囃子保存会

● 三原郡三原町八木 代表：宮地 眉美

<p>目的</p>	<p>地元によくから伝わる「石つき節」を演じたところ、昔懐かしいと高齢者の方から声をかけられ、病弱な方も顔を輝かせ手拍子をしてくれる。また、子ども達にも参加してもらい評判となる。 これらのことから、本格的に郷土芸能を掘り起こし、地域活性化を図る取組みとしたい。</p>
<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 忘れかけられていた石つき節の復古、披露 ・ 演題集の整備 ・ ビデオ作成
<p>地域</p>	<p>三原郡三原町 三原中学校区</p>
<p>事業の 効果</p>	<p>石つき節や祇園囃子等の郷土の歌を受け継ぎ、わが町自慢を探り出し、多くの方に地域への愛着と誇りを一層高められた。 練習を通じて、歌い上げる大音声や太鼓の音など、異世代の方の心を魅了し多くの方に伝わった。 忘れかけていた郷土芸能を掘り起こし伝承すると共に、協働活動を通じてお互いの理解と親睦を深められた。また、地域活性化を願う老若男女の交流も図られた。 活動を展開していくなかで、八木更生保護婦人会や八木保育所とも連携が深まり、個人個人の啓発から団体へと広がった。</p>




事業経過	9月15日	郷土芸能発表会（敬老会）
	9月30日	活動の趣旨内容などの説明
	12月16日	祇園囃子の披露
	12月20日	八木保育園での発表
	1月20日	寺内総会への発表
連携	寺内部落、寺内老人会、更生保護婦人会	



成果物	<p>〈演題集〉〈写真集〉〈ビデオ〉（祇園囃子、石つき節）</p> <p>〈DVD〉（祇園囃子）〈パンフレット〉（石つき節）</p>
今後の展望	<p>寺内祇園囃子保存会が伝統芸能の魅力をしっかり理解し、後継者の育成をしながら郷土芸能を継続発展させていく。連携団体も増え、また平成15年度の発表行事も予定しており、郷土芸能をこよなく愛する方が増えている。実演以外にも、パンフレットやビデオなどを通じて、より多くの方に広めていく。</p> <p>今回の活動で新たな愛好者グループ（鳴松会グループ、文化グループ、着付けグループ、愛球会グループ）が育っており、これらとも連携を図りながら、郷土芸能の良さを伝えていく。</p>

問合せ先	宮地 眉美 三原郡三原町八木 0799-42-0059
------	-----------------------------


 たくさんの補助をいただき本格的に郷土芸能を掘り起こし、地域活性化を図ることができました。今回の活動を通じて、会員の熱意が地域をゆり動かすことができることをしっかり認識できました。各年齢層の方々により一層活性化を図るため幅広く技能を高めています。今年初の試みとして1時間半の演出も実施しています。一座のようなものです。保存会一同、懇切ていねいな御指導のおかげと感謝の念でいっぱいです。

〈寺内祇園囃子保存会 宮地 眉美〉

(42)福良健康探険マップ

●福良いずみ会

●三原郡南淡町福良乙 代表：楓 るみ子

<p>目的</p>	<p>住民の声を反映しながら、地域の身近なウォーキングマップをみんなで作り、単に健康増進のためだけでなく、今まで気付かなかった町の名所や旧跡等を巡るコースを盛り込み、わがまち福良の良さを再発見、再認識し、郷土愛を育み環境問題にも関心を持ってもらう。</p> <p>また、地震などの災害時の避難場所、経路の確認もしてもらう。</p> <p>さらに、このマップでは、車いすやベビーカーでも利用できるコースも組み入れ、これらの利用者の健康増進を図るとともに、まちのバリアフリーの意識向上を図ることを目的とする。</p>
<p>内容</p>	<p>〈ウォーキング大会〉 マップを作成するため、福良を再発見するために、一万歩を目安に歩く。</p> <p>〈福良健康マップ〉作成 ウォーキングで調査した結果を整理して、地図を作成する。</p>
<p>地域</p>	<p>三原郡南淡町 福良中学校区</p>
<p>事業の効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の方が大切にしているもの、歴史的に大切なものの再発見ができた。 ・ 避難経路や昔の自慢話しを通して、異世代間の会話が弾んだ。 ・ 車イスやベビーカーを実際に用いて調査したことにより、段差の少ない見通しの良い町づくりへの意識が高まり、以前から日常的に行われている路上駐車や不法投棄などに対して、周りに迷惑がかからないよう、みんなで勇気を持って注意・声かけすることとなった。 ・ 今回の事業が他地域へ広がり、マップづくりをする地域もでてきた。 <div data-bbox="284 1317 794 2040"> </div> <div data-bbox="887 1328 1385 1666"> </div> <div data-bbox="887 1688 1385 2027"> </div>

事例報告会概要

地域活動に取り組まれている団体等に対して、「まちの再発見運動」の取組みを広く紹介するため事例報告会を開催するとともに、併せて、平成15年度の募集内容の説明会を開催した。

1 日 時

平成15年3月23日(日) 13:30~16:30

2 場 所

神戸生活創造センター講座研修室(神戸クリスタルタワー6階)
(神戸市中央区東川崎町1-1-3)

3 参加者

平成14年度まちの再発見運動実施団体、及び地域活動団体等 約100名

4 開催内容

13:30 開会

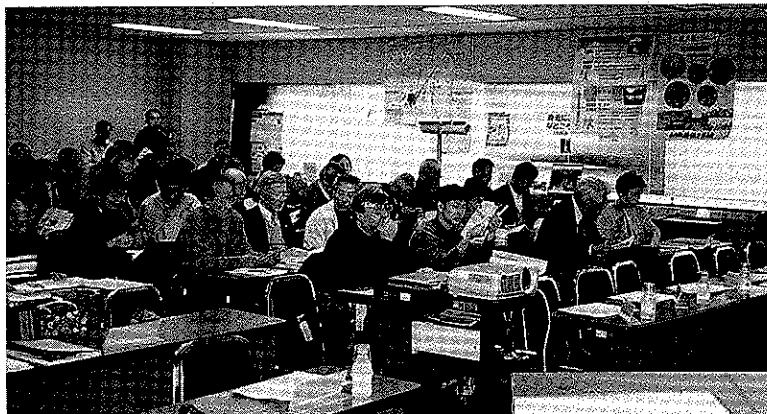
13:40 事例報告

事前審査を通過した11団体から取組み結果を発表(発表7分、審査委員からの質疑3分で、各団体10分)した。

16:00 審査結果の発表と顕彰

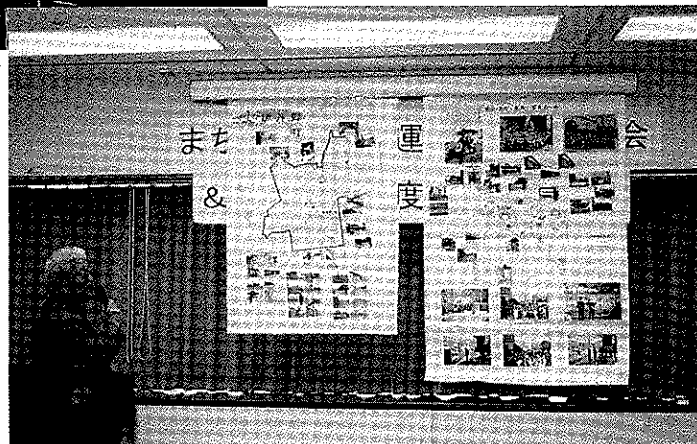
16:20 平成15年度募集内容の説明と個別相談

16:30 閉会



あしたの伊丹の(町)を
創りだす会さんの楽しい報告

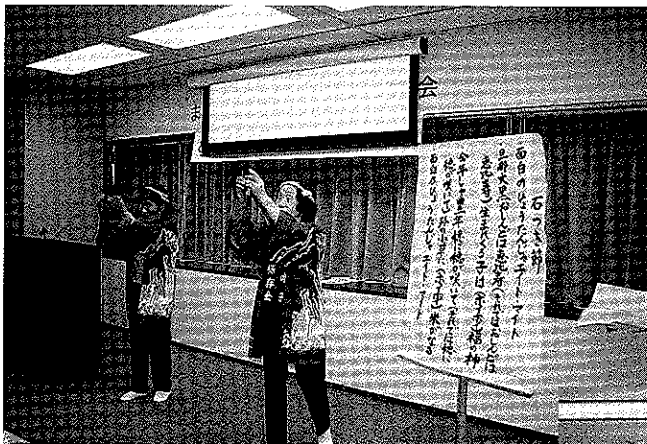
会場の周りに掲示された各団体の実施報告と、
皆さんの真剣な眼差し、そして熱気



5 審査結果

審査委員による審査の結果、大賞1団体、優秀賞2団体には、表彰状と記念品を、奨励賞8団体には記念品を贈呈し、その取組みを顕彰した。

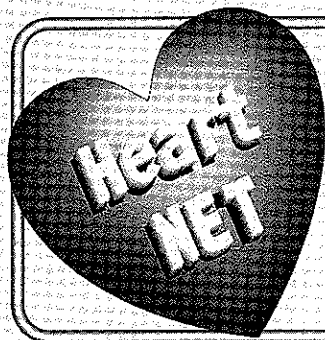
- (1) まちの再発見運動大賞 道場町連合自治会（神戸市北区） 「ふるさと今昔探検」事業
- (2) まちの再発見運動優秀賞
 - ①灘中央地区まちづくり協議会（神戸市灘区） 「なつかしき心のまちかど再発見」事業
 - ②川西市子ども会連絡協議会（川西市） 「かわにしっ子まつり」事業
- (3) まちの再発見運動奨励賞
 - ①住吉山田まちづくり協議会（神戸市東灘区） 「住吉山田まち歩きマップ」事業
 - ②脇の浜ふれあいのまちづくり協議会（神戸市中央区） 「わがまちHAT絵画・写真コンテスト」事業
 - ③越木岩自治会（西宮市） 「越木岩秋祭り紹介ビデオ製作」事業
 - ④芦屋おたすけたい（芦屋市） 「みんなで考える芦屋のまちのバリアフリー」事業
 - ⑤あしたの伊丹の（まち）を創りだす会（伊丹市） 「伊丹郷町再発見写真パネル展」事業
 - ⑥ゆずり葉コミュニティ（宝塚市） 「クリーン白瀬川・裏山の健康づくり散策路の整備活動」事業
 - ⑦東浦町老人クラブ連合会（津名郡東浦町） 「伝承文化ガイド標識づくり事業」事業
 - ⑧寺内祇園囃子保存会（三原郡三原町） 「伝統芸能のほりおこし」事業



小西康生審査委員長から表彰状と記念品を贈られる川西市子ども会連絡協議会さん

熱唱、熱演の寺内祇園囃子保存会さん





生活復興県民ネットの情報誌

第78号

平成15年4月25日発行

ハートネット

発行/生活復興県民ネット
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目1-3 神戸クリスタルタワー10階
TEL (078) 360-5888 FAX (078) 360-5887
URL <http://kenmin.net-hyogo.chuo.kobe.jp> E-mail nethyogo@magical.egg.or.jp

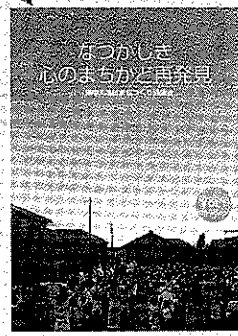
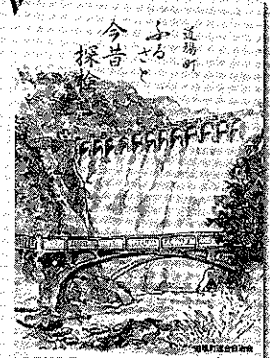
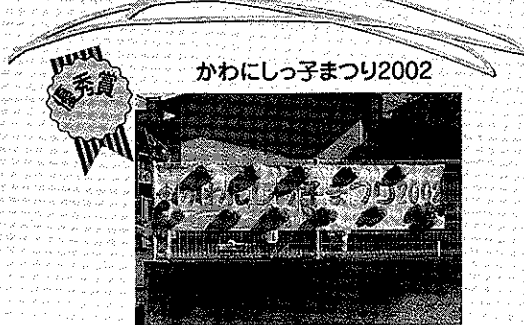
まちの再発見運動事例報告会 大賞、優秀賞が決まりました!



「ふるさと今昔探検」



「なつかしき心のまちかど再発見」



平成14年度にスタートした「まちの再発見運動」は、誰もが「住んでいてよかった」「住み続けたい」と思えるまちづくりに向け、被災地内の自治会等の地域組織を中心にさまざまな活動が展開されてきました。3月23日に、「まちの再発見運動事例報告会」を開催し、審査会で選ばれた11団体がそれぞれの事例を報告、その中から大賞1団体、優秀賞2団体が決定しました。

大賞 道場町連合自治会「ふるさと今昔探検」(神戸市北区)

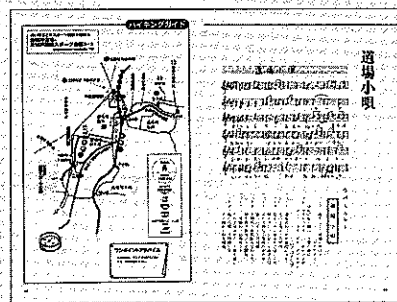
田畑が広がるのどかな風景の道場町は、古い社寺や城跡、古墳群などが今もあちこちに残されています。その道場町の連合自治会が、自分たちのまちに誇りを持ち、住民同士のコミュニティのきっかけづくりにしてもらいたいと、「ふるさと今昔探検」を発行しました。

この冊子は、聖徳太子ゆかりの寺や菅原道真公を祭神とする神社など、あわせて35の社寺や旧跡などを紹介しているほか、道場町にまつわる民話や小唄、ハイキングガイドなどを掲載しています。冊子で紹介している場所は、以前から毎月開催している「郷土史教室」で収集されたものを資料にしており、編集なども地元住民で試行錯誤しながら作成しました。

また、隣接する4つの町(鹿の子台、長尾町、大沢町、八多町)と連携して、それぞれの町をPRしながら情報交換する広報誌「まちふれんず」

を発行しています。特に、鹿の子台は新しく開発されたまちということで、互いに助け合い、信頼しあえる関係を築く努力を重ねています。

連合自治会長の宇津さんは、「この冊子でハイキングを楽しんだり、家庭で冊子を話題に語り合えるきっかけづくりに活用してもらい、ますます自分たちの町に愛着を持ってもらいたいです」と話しています。





川西市子ども会連絡協議会

「川西市子ども会 “かわにしっ子まつり2002”」

「かわにしっ子まつり」は、川西市内の小学校4年生から6年生まで16名がスタッフとして参加し、「川西の謎・伝説」のマップ・パネル作りや、「〇×川西クイズ大会」「松ぼっくりツリー作り」などを開催しました。

子どもスタッフは、図書館や市役所に通って資料を集めたり、ツリー作りに使う松ぼっくりを近くの



神社で拾い集めるなど、企画、立案から準備、実施まで積極的に取り組みました。大人たちは手伝い程度のかかわりだったので、開催にこぎつけるまでいろいろ苦労しましたが、子どもたちはその分「自分のまち」を今まで以上に好きになり、歴史や伝説をより詳しく学ぶなど、充実した時間を過ごすことができました。代表スタッフの田中千智さん(6年)と池内咲稀さん(6年)は、「大変だったけど、頑張っただけでよかったです。ほかの学校の友だちもできてうれしかったし、とても楽しかった!」と話していました。

ほかにも「紙芝居」や「三世代ゲートボール大会」など地域の大人たちを講師に招き、異世代交流を楽しみました。

川西子ども会連絡協議会は、「子どもの手による子ども会」を目指し、今後もより多くの人とコミュニティを図れるような連携事業を考えています。



灘中央地区まちづくり協議会

「なつかしき心のまちかど再発見」(神戸市灘区)

「いらっしゃい!」と威勢のいい声が飛び交う商店街の一角にある「灘中央地区まちづくり協議会」は、地域住民とともにさまざまなまちづくりの活動に取り組んでいます。

今回「まちの再発見運動」で取り組んだパンフレットは、地域内の各家庭や商店街などに残る古くて身近な写真を掲載したもので、併せてパネルやスライド、CDなども制作しました。パネルの展示は、商店街や銀行など人通りの多い場所で開設したり、スライドショーを公園内で上映し、より多くの人に地域を知ってもらう工夫をしました。スライドショーでは、写真を提供した人がナレーションを担当し、CDに使われた音楽は地域の方に作曲してもらうなど、たくさんの方が協力して完成しました。

「まちの再発見運動」が終了後も、スライドショーは福祉施設や給食サービスの会場などへの出前や小学校の総合学習の授業でも上映され、子どもたちが「自分たちのまち」についての研究発表会を行うなど、引き続き活用されています。事務局の棚岡さ

んは、「今度もCDの販売を引き続き行い、絵はがきの作成などにも取り組んでいきたいです」と話していました。

今回の事業の反響が大きく、特に地域の高齢者が積極的に協力することで、集められた写真は400枚に及びました。たくさん懐かしい写真を見て昔話に花を咲かせることができた地域住民は、若い世代へ昔のエピソードを語り継ぐ喜びを感じています。



平成15年度「まちの再発見運動」募集します!

募集
期間

5月12日(月)～30日(金) 詳しくは、県民ネット事務局まで。

● まちの再発見運動関連図書等一覧表 ●

番号	主な対象地域	タイトル	著者名	発行者	発行日
1	兵庫県	目で見るひょうご100年	神戸新聞写真部	神戸新聞総合出版センター	H11.12
2	兵庫県	ひょうご身近な自然発見記	赤松 弘一	神戸新聞総合出版センター	H10.7
3	兵庫県	兵庫の街道いまむかし	橘川 真一	神戸新聞総合出版センター	H6.12
4	東灘区	東灘歴史ほりおこしマップ	東灘歴史掘り起こし隊、 東灘区役所	東灘区まちづくり推進課	H14.3
5	中央区	元町商店街今昔物語	元町商店街/ NPO法人あいあいネット神戸	元町商店街/ NPO法人あいあいネット神戸	H14.12
6	兵庫区	歴史が語る湊川 新湊川流域変遷史	新湊川流域変遷史編集委員会	神戸新聞総合出版センター	H14.12
7	北区	北神戸歴史の道を歩く	野村貴郎	神戸新聞総合出版センター	H14.10
8	北区	道場町ふるさと今昔探検	岡田 晃 (道場町の歴史を学ぶ会)	道場町連合自治会	H14.12
9	須磨区	須磨の近代史	須磨区役所まちづくち推進課	須磨区役所	H10.3
10	須磨区	須磨の歴史散歩	田辺 真人	須磨区役所	H9.3
11	須磨区	住民主体の挑戦 被災地須磨のまちづくり	西須磨まちづくり懇談会	西須磨まちづくり懇談会	H9.4
12	垂水区	舞子かるた	舞子生活文化圏部会 (垂水区区民まちづくり会議)	垂水区役所	H14.3
13	神戸市	失われた風景を歩く	ビジュアルブックス編集委員会	神戸新聞総合出版センター	H14.7
14	神戸市 以西	週刊日本の街道 山陽道1	講談社	講談社	H14.5
15	神戸市	歴史の中野神戸と平家	歴史資料ネットワーク	神戸新聞総合出版センター	H11.12
16	神戸市	神戸ゆかりの50人	神戸新聞社	神戸新聞総合出版センター	H14.12
17	神戸市	まちの大発見・小発見 神戸雑学100選	金治勉/先崎仁	神戸新聞総合出版センター	H12.6
18	神戸市	新 神戸の町名	神戸史学会	神戸新聞総合出版センター	H8.4
19	神戸市	市民のクラブこうべ (神戸の20世紀わたしの神戸100年物語)	神戸市広報課	神戸新聞総合出版センター	H12.12
20	神戸市	市民のクラブこうべ (特集：神戸のいまむかし)	神戸市広報課	神戸新聞総合出版センター	H15.4
21	尼崎市	尼崎八景	岡村康裕	岡本康裕	H15.1
22	尼崎市	僕はアマイモ	森元茂樹/綱本武雄	尼崎ひと・まち・赤トンボセンター	H15.2
23	西宮市	夢とロマンをつくるまち越木岩 (自治会35年のあゆみと越木岩のおいたち)	越木岩自治会	越木岩自治会	H12.11
24	西宮市	だんじり幕の物語	越木岩青年会OB会	越木岩区有財産管理委員会	H12.9
25	西宮市	越木岩の秋まつり (ビデオ)	越木岩自治会	越木岩自治会	H14.12
26	伊丹市	まちの活気きみに元気 VITAMIN BOOK ITAMI	2003ビタミンブック編集委員会	伊丹郷町商業会	H14.12

番号	主な対象地域	タイトル	著者名	発行者	発行日
27	宝塚市	山あいの村を拓く	西谷郷土史編集協議会	西谷地区まちづくり協議会	H12. 6
28	宝塚市	山あいの村に生きる	西谷郷土史編集協議会	西谷地区まちづくり協議会	H13. 3
29	宝塚市	山あいの村に育つ	西谷郷土史編集協議会	西谷地区まちづくり協議会	H14. 4
30	芦屋市	ほっとタウン芦屋 バリアフリーガイド【トイレ特集】	芦屋おたすけたい	芦屋おたすけたい	H14.12
31	明石市	路傍の歴史再発見	橋川真一	神戸新聞総合出版センター	H13. 7
32	明石市	地名でたどる小さな歴史	橋川真一	神戸新聞総合出版センター	H11. 7
33	三木市	三木へおいでよ	三木市観光協会	三木市観光協会	H14.11
34	淡路	淡路学読本	淡路島デザイン会議・ 財団法人淡路21世紀協会	淡路島デザイン会議	H14. 3
35	東浦町	むかしばなし ひがしうら	東浦町老人クラブ連合会 伝承事業編集委員会	東浦町老人クラブ連合会	H10. 4
36	一宮町	ふるさと一宮ガイドブック	一宮21創造協会/ 一宮町文化協会	一宮21創造協会/ 一宮町文化協会	H15. 1
37	一宮町	枯れ木神社の神様 天竺から漂着した香木	一宮21創造協会	一宮21創造協会	H14.12
1	三重県	まちづくりブック伊勢	まちづくりブック伊勢制作委員会	学芸出版社	H12. 2
2	加美町	笑う町には福来たる一兵庫・ 加美町みんなが主役のまちづくり	亀地宏	神戸新聞総合出版センター	H15. 4

